



ヘリテージ・エクスペディションズ  
日本地区正規代理店  
株式会社クルーズライフ



HERITAGE  
EXPEDITIONS

浪漫を求めて神秘に満ちた最後の秘境へ

# 南極

南極ロス海

世界  
遺産

亜南極の島々



人生に夢と感動を。クルーズライフ

# 探検の歴史に彩られた 南極・ロス海

ロス海は、1841年にロス海を発見した英国のジェイムズ・クラーク・ロスに因んで名付けられました。英国王立地理学協会は、ロバート・ファルコン・スコット率いる1901～04年の英国南極探検の地として、ロス海地域を選びました。

地球上で最も遠隔の地にある南極のロス海地域は、探検の歴史に彩られた魅力的な場所です。ロス海は厚い氷で覆われるため、この地域を訪れる事が出来るのは、南極の夏のほんの2か月間のみで、今迄、この非科学的で美しい地域を訪れた観光客は僅かです。

ロス海クルーズでは、経験豊富なオフィサーと乗組員、情熱あふれる知識豊かなエキスペディション・チームが、耐氷能力に優れ設備の整った探検船で壮大なスケールの南極・ロス海にご案内します。

1907～09年、アーネスト・シャクルトンのニムロッド号南極探検隊は、 Beardmore 氷河から南極横断山脈を越えて人類史上初めて南極高原に到達。

ノルウェーのロアルド・アムンセンは、1911年12月14日、人類初の南極点到達を果たしました。

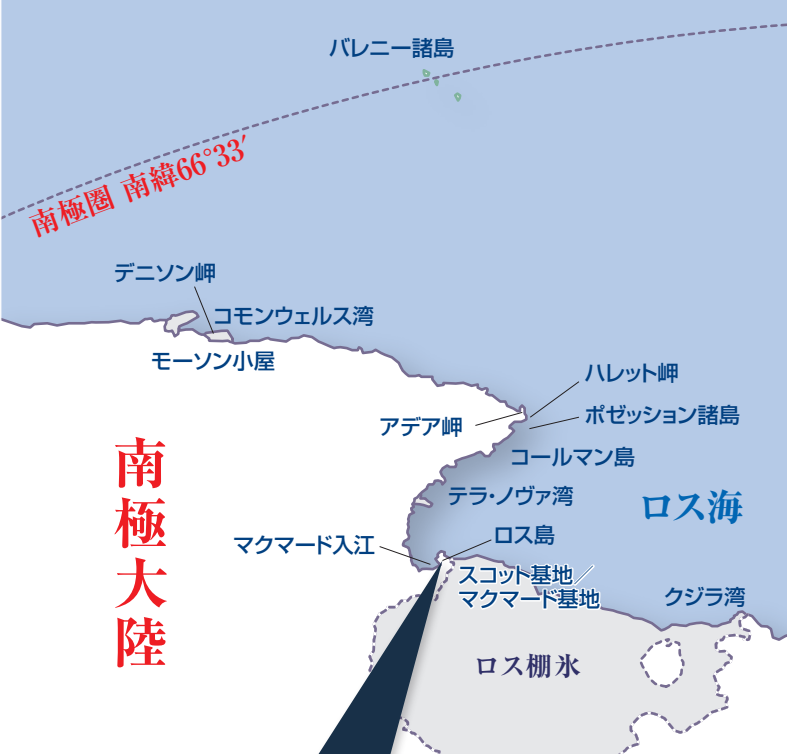
ロバート・ファルコン・スコットは、それから遅れる事、34日目の1912年1月17日、南極点到達を果たしましたが、帰途に遭難し、死亡するという悲劇に見舞われました。

日本の探検家、白瀬矗は1910～12年に南極点到達に挑戦しましたが、1912年1月28日、南緯80度05分、西経156度37分まで到達したところで南極点到達を断念、その地を「大和雪原(やまとゆきはら)」と命名し帰還。

この時代の南極探検は「南極点到達レース」とも呼ばれました。

1914～17年のシャクルトンの帝国南極横断探検で「英雄」や「黄金」の時代は終りを告げましたが、この時代の多くの遺物や探検小屋は、今でも往時のままの姿を留めています。





南極大陸



## 南極ロス海探検クルーズ

28  
日間

スコットとシャクルトンの足跡を訪ねる



©wardle7

南極のロス海地域は、地球上で最も手つかず自然が残る最後の場所であり、人類史においても最も魅力的な場所の一つです。南半球の夏季、この氷に閉ざされた海域を航海できるのは、わずか2ヶ月間に限られており、ほとんどの人は、この美しく神秘的な地域を訪れたことはありません。科学研究以外の目的で訪れる機会は、数隻の探検船に限られています。

この探検クルーズを運航するヘリテージエクスペディションズは、ロス海地域を初めて航海した、最も経験豊富な探検会社であり、35年以上にわたり、世界屈指の経験豊富な船長、航海士とその乗組員を擁し、情熱と知識を備えたエクスペディションチームで、ロス海地域の探検クルーズを提供しています。ヘリテージエクスペディションズの象徴的なこのコースは、ドキュメンタリーTV番組「Go Further South」、「Antarctica from Above」や「The Last Penguin」でも取り上げられています。

ロス海は、1841年にこの海を発見したサー・ジェームズ・クラーク・ロスにちなんで名付けられました。1901～1904年にかけて、英国王立地理学会がロバート・ファルコン・スコット率いる、有名な英国国立南極探検隊の拠点としてロス海を選びました。この探検隊の挑戦から、「南極点到達競争」と呼ばれるレースが生まれています。1907～1909年にかけて挑戦したアーネスト・シャクルトンは、南極点まで少しという所である当時の最南端到達記録し、1910～1912年にかけては、日本の探検家白瀬燕が挑戦しました。

1911年夏にライバルのノルウェー人ロアルド・アムンセンによる南極点到達により、スコットは南極点到達競争に敗れました。そして1914～1917年シャクルトンの英雄的歴史が残る、南極大陸横断探検の挑戦の機に南極探検の黄金時代が終わりを告げました。しかし現在でも、この時代を物語る小屋など、多くの遺跡がロス海エリアに残っています。100年以上前の初期の探検家たちが見てきたドラマチックな景観は今も変わらずあり、エレバス山、ディスカバリー山、そしてトランスアンタークティック山脈の風景など今日でも感動的な光景を呈しています。

スコットは南極点到達を確信していましたが、に敗れました。1914年から1917年にかけてのシャクルトンの南極横断探検は、探検のこの「英雄的」あるいは「黄金時代」の終わりを告げるものでしたが、小屋など、この時代を物語る多くの遺跡が残っています。初期の探検家たちが描写したドラマチックな景観は、今も変わっていません。ペンギンたちも今もなお同じ場所に生息し、アザラシが氷の上で過ごしている様子を見られます。1920年代に狩猟されていたクジラたちもゆっくりとその数を回復させています。またユキドリ、アシナガウミツバメ、ナンキョクフルマカモメ、オオトウゾクカモメなどの海鳥もこの過酷な環境で繁殖しています。

歴史的な小屋や遺跡の探索から、ペンギン営巣地の訪問、氷河の氷舌や棚氷の驚異、氷山や海氷に至るまで、ここにはやるべきことや見るべきことが山ほどあります。さらに、海鳥、アザラシ、クジラを観察したり写真を撮ったり、近代的な科学基地や野外キャンプを訪れたり、そして常に訪れる人々を魅了してきた素晴らしい景観をただただ満喫する時間も楽しめます。

南極大陸までに通過する亜南極の島々は、あまり知られていないですが、コンデナストトラベラー誌「2025年に訪れるべきベスト25」に選出された、亜南極のスネアーズ諸島、オークランド諸島、マッコリー島、キャンベル島の探索もこの旅行に含まれています。これら亜南極の島々は、長い旅の息抜きになるだけでなく、ロイヤルペンギン、キンメペンギンなどの固有種やキングペンギン営巣地、シロアホウドリなど野生動物との出会いと素晴らしい景観ハイキングが期待できます。

## 集合：クイーンズタウン到着の注意

日程1日目は、お客様ご自身で指定ホテルまでお越しください。到着空港から集合提供ホテルまでの送迎は含まれておりません。

提供ホテルでは、15時から夜8時までの間、ヘリテージ現地スタッフが到着受付を行い、翌日の予定を含むウェルカムパックのご案内をいたします。この受付時間内に提供ホテルへ到着できるよう、ご旅行計画ください。

※クイーンズタウン空港は、天候状況によりフライトスケジュール変更の影響を受けることがあります。余裕をもってご到着することをお勧めします。

## 解散：クイーンズタウン出発の注意

通常、朝、ブラフ港に入港し、下船開始となります。下船手続きには、ニュージーランド入国手続きが含まれ、約1～2時間を要します。

下船後は、「インバーカーギル行き」と「クイーンズタウン行き」に団体送迎いたします。天候海象や港湾状況により、予期せぬ下船遅延、および交通状況による送迎遅延が発生する場合があります。下船後のお客様の予定も余裕を持ったご旅行計画をお勧めします。

下船後の旅行計画は、次のガイダンスが推奨されます。これら時刻以前のご旅行計画はお控えください。

- **インバーカーギル発**のフライトスケジュールは、**午後12:00以降**をお手配ください。
- **クイーンズタウン発**のフライトスケジュールは、**午後03:00以降**をお手配ください。



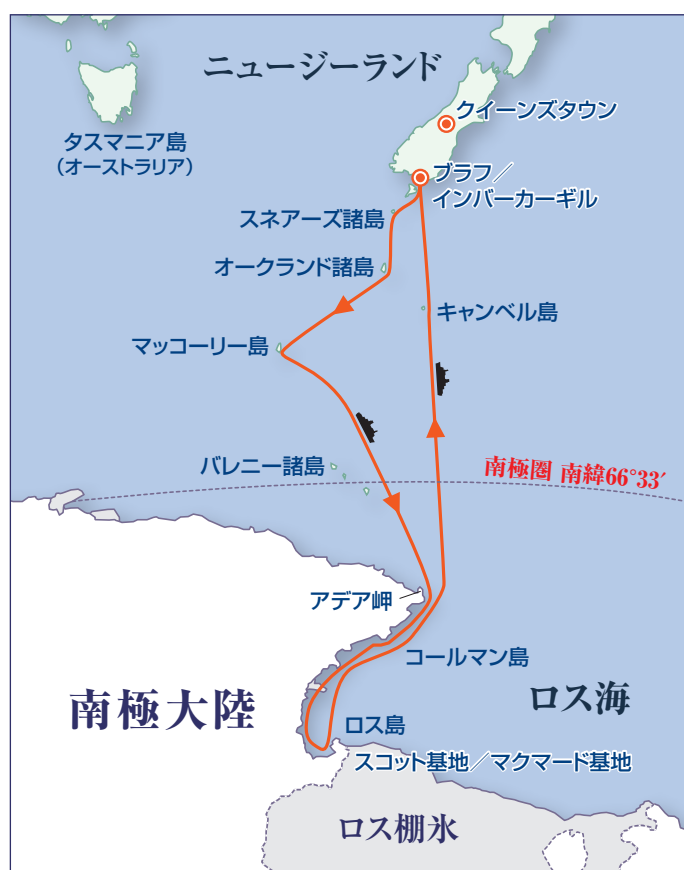
©KOvsyanikova

- 集合地/解散地：クイーンズタウン(ニュージーランド)
- 宿泊ホテル：コブソーンホテル&リゾートクイーンズタウンレイクフロント、ホリデイインクイーンズタウンリマーカブルズパークby IHG
- 食事条件：朝食27回、昼食26回、夕食27回

### ●スケジュール

日次	日程	食事		宿泊
		朝	昼/夕	
1	午後 ニュージーランドのクイーンズタウン到着 ヘリテージ社指定のホテルに宿泊		H	クイーンズ タウン
2	自由行動 午後 ホテルからブラフ港まで団体送迎 午後 ブラフ港到着後、客船に乗船 夕刻 <b>ニュージーランド最南端のブラフを出港</b>	H	H O	船中
3	終日 ノースイースト島(スネアーズ諸島)	O	O O	船中
4	終日 エンダービー島(オークランド諸島)	O	O O	船中
5	終日 航海	O	O O	船中
6~7	終日 マッコリー島(オーストラリア領)	O	O O	船中
8~10	終日 航海	O	O O	船中
11~22	終日 南極ロス海地域	O	O O	船中
23~25	終日 航海	O	O O	船中
26	終日 パーサピアランスハーバー(キャンベル島)	O	O O	船中
27	終日 航海	O	O O	船中
28	朝 <b>ブラフ入港/下船</b> 下船後、インバーカーギル空港または クイーンズタウン空港/町中まで団体送迎 クイーンズタウン着後、解散	O		

(備考) 上記スケジュール中、食事欄の「O」は船内食、「H」はホテルでの食事を表します。



※記載の地図はイメージです。



©ARRUSS

## ● 詳細日程

## 第1日目

ニュージーランドの  
クイーンズタウン到着

アルパインリゾート地として有名なニュージーランドのクイーンズタウンに到着。到着後、お客様各自で提供ホテルまでお越しください。

夜、ホテルにて夕食会を開催します。これから始まる冒険を共にする仲間と一緒に夕食や交流をお楽しみください。

## 第2日目

クイーンズタウン発  
ブラフ港着 / 乗船 / 出港

朝、ホテルにて朝食をご用意しております。午前中は、クイーンズタウンでの自由時間をお楽しみください。

午後、ホテルにて昼食をとった後、乗船地ブラフ港に向けて出発。団体送迎バスでお送ります。ブラフ港到着後、客船に乗船。乗船後は各客室で一息の時間や船内でお過ごしいただけます。また乗船後は、エクスペディションチームや乗組員の紹介、安全説明、避難訓練などいくつかのイベントを実施します。

夕方、客船はいよいよ最初の目的地スネアーズ諸島に向けて針路をとり、ブラフ港を出港。ラウンジやデッキからは最初の出港風景をお楽しみください。

## 第3日目

ノースイースト島  
(スネアーズ諸島)

ニュージーランドに最も近い亜南極の島

で、1795年、発見者プロートン中尉によって、船の航行が危険な場所と見做され、スネアーズ(罟)と呼ばれていました。主要な2つ島とウェスタンチェーンと呼ばれる5つの島からなる群島は、無人島であり、厳重な保護区となっています。

ノースイースト島(北東島)は、スネアーズ諸島最大で、この1つの島に、イギリス全土に生息する海鳥を超える数の多くの海鳥が営巣しています。天候や海象状態が良ければ、早朝に到着し、ゾディアックボートで東側の険しい海岸線をクルージングします。(上陸は許可されていません)。

保護された湾では、固有種のハシブトペンギン(英名Snares Crested Penguin)、ニュージーランドヒタキ、シダカッセを見ることが出来ます。マダラフルマカモメやナンキョクアジサシも多数生息しています。またスネアーズ諸島には、実際の数については多くの議論がありますが、何十万羽ものハイイロミズナギドリが営巣しています。毎年クリスマスの頃、ニュージーランドアホドリも巣作りのために、ここへ戻ってきます。

島々の大部分を覆うように生い茂る、オレアリア・リアリー(Olearia lyallii)は、大型の樹木性のデイジー(ヒナギク)です。

(注意)スネアーズ諸島への上陸は、規制により予め許可されていません。

## 第4日目

エンダービー島  
(オークランド諸島)

オークランド諸島は、約1,000~2,500万

年前に噴火した2つの火山によって形成されました。その後、氷河作用の侵食と分断により、現在の群島が形成されています。この群島の中で最も美しい島がエンダービー島で、有名な海運一家にちなんで名付けられました。

群島の最北端に位置するこの島は、野生生物や野鳥の生息地であり、比較的簡単に上陸が可能で、野生動物の観察や上陸観光に絶好の機会となります。1994年、人間が持ち込んだ動物や害虫による外来種の影響を一掃し、鳥類や植生、特に草本植物が、数と多様性の両方で回復しています。

私たちは、ニュージーランド固有種であるフッカーズ(ニュージーランドアシカ)のオークランド諸島にある3つの繁殖地の1つであるサンディベイ(砂浜の湾)に上陸を予定しています。浜辺には繁殖の主であるオスのアシカが、ハーレムを守り、一頭が子を出産した直後にメスと交尾し繁殖しています。

上陸観光では、長めの散策や短めの散策などいくつかの選択肢で目的や体力に合わせて上陸観光をお楽しみいただけます。野生動物の観察や、ドラマチックな景観が続く西岸の崖、島を横断できる遊歩道、そしてそこから海岸線を進み島一周をできるハイキングもお楽しみいただけます。

この島では、ミナミシロアホドリ、キタオオフルマカモメ、オークランドウ、クリイロコガモ、オークランドチャオビチドリ、オークランドニュージーランドヒタキ、スズドリ、タヒバリ、アオハシインコ、キンメペンギン、ハイ



©N Russ



©N Russ



©N Russ

イロアホウドリ。またオークランドシギなどの野生動物との遭遇に期待できます。

#### 第5日目 終日航海

『狂う50度』と呼ばれる海域を航行して、マッコリー島を目指します。航海中は、亜南極の島々の生物や歴史について、専門家によるプレゼンテーションをお楽しみいただけます。

また風に乗った、ワタリアホウドリ、シロアホウドリ、ハジロアホウドリ、ハイイロアホウドリ、ハイガシラアホウドリ、マユグロアホウドリ、ノドジロクロミズナギドリ、マダラシロハラミズナギドリ、メグロシロハラミズナギドリ、マダラフルマカモメ、モグリウミツバメ、ヒメアシナガウミツバメ、クロハラアシナガウミツバメなど海鳥たち観察機会があります。決して簡単ではありませんが、ヒメクジラドリ、アツハシクジラドリ、ナンキョククジラドリの観察機会も得られるかもしれません。

探検クルーズでは、珍しい種を見られるバードウォッチングも魅力的です。

#### 第6~7日目 マッコリー島 (オーストラリア領)

オーストラリア領の亜南極の島で、南極海でも有数の野生生物が生息しています。キングペンギン、ヒガシイワトビペンギン、ゼンツーペンギン、そして固有種のロイヤルペンギンの4種のペンギンが何百万羽も繁殖しています。私たちは、サンディ湾とバックルズ湾の承認された2ヶ所の上陸地点か

ら上陸します。気象条件が許せばルシタニア湾でのゾディアッククルージングもお楽しみいただけます。

サンディ湾にはロイヤルペンギンの営巣地があり、頭部の金色の飾り羽を揺らして、活発に浜辺を行き来しています。約300万羽いるロイヤルペンギンは、世界中でここマッコリー島のみで繁殖します。またこの島には、キングペンギンの巨大な営巣地もあります。

ペンギンたちは臆病でありながら、好奇心旺盛で、この様子を間近に観察できる最高体験となるでしょう。

バックルズ湾では、1940年代後半に設立され、それ以来継続的に人員が配置されているオーストラリア南極観測局があります。上陸観光では、砂浜や草むらに多くのソウアザラシが寝そべっている所に遭遇するでしょう。この巨大な生き物は、毎年群れで横たわり脱皮を行います。私たち上陸者の存在はほとんど気にしていません。若いオスは浜辺で力比べし、成熟期にハーレムを養うための準備をして過ごしています。

ルシタニア湾のキングペンギン巨大営巣地は、驚くほど壮観です。ゾディアッククルーズでは、キングペンギンが群れで直立不動で立っている様子や海中をイルカのように飛び跳ねながら泳いでる様子を見られるでしょう。

浜辺に見える錆びた蒸解窯は、かつて多くのペンギンが虐殺され製油されていた時代を痛ましく思い起こされます。現在は彼ら

の子孫たちが、この領土を取り戻し、繁殖しています。

また島を管理する基地局は、7年間による意欲的な駆除プログラムに着手し、2014年に島内の害獣ゼロを達成しております。鳥類と植生がそれに応える形で、再生と増加を目の当たりにしています。

この島には、ペンギンとゾウアザラシに加えて、3種のオットセイと4種のアホウドリ(ワタリアホウドリ、マユグロアホウドリ、肺頭アホウドリ、ハイイロアホウドリ)も生息する素晴らしい島です。

#### 第8~10日目 終日航海

南極海を南下するにつれて、本船の周りをアホウドリやミズナギドリが飛び交いながらついてきます。船内講義は、南極大陸とロス海についての話題になってきます。

南極収束線を通り過ぎたところ、海は冷たく、より豊かな海域に入っていきます。鮮やかな色を帯び、自然が作り出したユニークな形をする漂流する冰山が見え始めます。

船長は、最初の氷を記念撮影するために、舵をとってくれるかもしれません。また南極圏(南緯66°66')を通過し、白夜となる南極に入った瞬間を船内でお祝いします。

航海中は、写真に整理や船内ラウンジやバーで寛いだりと、各々ゆっくりと航海をお楽しみください。



©SBlanc



©J L'Heureux



©J L'Heureux

## ●詳細日程

### 第11～22日目 南極ロス海地域

ロス海地域にいる間、南極の最も歴史的な地域のハイライトを訪問する予定です。予測不可能な天候と氷の条件のために、毎日の旅程を明記することは不可能です。船長とエクスペディションリーダーが、毎日の天候と氷、海象状況を的確に判断しながら、あらゆる機会を利用してお客様を上陸観光やゾディアッククルーズにご案内します。

私たちのプログラムは、野生生物の観察、主要な科学的拠点、史跡、そしてロス海の沿岸地形、氷河、氷山の壮大な風景に重点を置いています。特定の陸上活動は、保証できませんが、以下の場所を訪問したいと考えています。

#### ●アデア岬：

ロス海先端にあるアデア岬に近づくと、雄大な岬とダウンシャークリフ（断崖）が迎えてくれます。ここには南極最大級のアデリーペンギン営巣地もあります。

岬を形成する大きくて平らな砂嘴を覆うのは巨大な営巣地で、今では夏の真ただ中に100万羽を超えるペンギンが営巣しています。南極で最大のアデリーペンギンの営巣地で、まさに息を呑む光景が広がります。絶え間なく活発で騒々しい「ペンギンの街」での最初の体験は、決して忘れる事はありません。そこにいるペンギンたちは、訪問者を恐れることなく過ごしています。エクスペディションチームの解説を耳にしながらか、静かに見ていると、ペンギンのコミカルな行動、求愛、ヒナの餌やり、縄張り主張、巢の材料の盗難などユニークな生態を観察する

ことができます。

ペンギンに囲まれた中、南極最古のボルクグレヴィンク小屋が目に入ります。この小屋は1899年に南極大陸に初めて訪れた最初探検隊が利用していた越冬小屋です。南極探検史「英雄時代」の魅力的な遺跡です。そして、初期の探検家の遺物がまだ残っている内部を見学することができます。

アデア岬の後ろの丘の約305m上には、南極最古の墓があります。これは、ボルクグレヴィンク探検隊の一員であった22歳のニコライ・ハンセンの墓です。

#### ●ハレット岬：

巨大なアドミラルティ山脈が見えてくるとロス海ハレット岬への到着を告げます。この風景は荒涼として素晴らしいものです。海拔4,000m以上もの山々が聳え立ち、巨大な氷河が内陸から海へと流れ落ちていきます。放置されたかつてのアメリカとニュージーランドの共同基地跡付近に上陸します。ここでは、アデリーペンギン営巣地とウェッデルアザラシが生息しています。

#### ●フランクリン島：

ロス海の奥深くに浮かぶこの険しい島には、アデリーペンギンの大規模営巣地や海鳥が生息しています。ゾディアックボートで海岸線を探索するとともに、営巣地近くに上陸も試みます。天候状況良ければ、上陸してこの注目に値する島を探索する機会があります。

#### ●ボゼッション諸島：

ハレット岬の沖に位置する、小さく、陰しく、めったに人が訪れることのない群島です。

フォイン島には数万羽のアデリーペンギン営巣地があります。アドミラルティ山脈と海が織り成す素晴らしい景観とペンギンたちが忙しく動き回り活動している光景をお楽しみいただけます。

#### ●ロス棚氷：

南極大陸で最大のロス棚氷は、世界最大の浮氷の塊でもあります。この自然の氷の障壁は、時に危険な気象条件を作り出し、極地の氷冠からカタバ風（滑降風）が吹くと、強風により一面に薄く積もった雪を吹き飛ばします。南極点からわずか1,287kmのこの気の遠くなるような光景は、多くの初期の南極探検家にとって、さらに南へ進むことを妨げとなりました。ロス棚氷から、棚氷の正面に沿って東へ航行します。高さ30mの壮大な氷の絶壁があり、時にはテーブル型冰山を作り出します。

#### ●ロス島：エレバス山／バード岬／シャクルトン小屋／スコット小屋

ロス海南端に位置するロス島。島には標高3,794m火山のエレバス山がそびえ立ちます。

バード岬には、ニュージーランド南極プログラムによる観測所が設置されており、科学者がアデリーペンギンの大規模営巣地など、この地域の自然史の様々な側面を研究しています。

ロイズ岬では、1907～1909年のニムロッド探検隊に建てられたアーネスト・シャクルトン脚の小屋を訪れます。シャクルトンの驚くべき探検について解説します。

彼はおそらく最も偉大な人物の一人であ



©TBickford

り、南極探検家の中で最も英雄的な人物でした。伝説的な探検は遠い昔のことですが、小屋の周囲には、この地域の元々の住民である、数千ものアデリーペンギンによって覆われており、人気のない場所ではありません。そして世界最南端のペンギン営巣地として活気があります。

ロス島には、1911年に建てられ、南極歴史遺産トラストによって良い保存状態を保っています。また島内のエバンス岬には、スコット大尉の2番目の小屋があった史跡があります。これら史跡は、先駆者となった探検家が直面した過酷な状況を物語る証です。小屋の中に入ると、スコット、ウィルソン、ポンティングが当時とほぼ同じ生活環境を目の当たりにすることができます。小屋の背後にあるエレバス山は、いまでも活動している火口から白い煙が渦巻いて立ち昇っています。

#### ●マクマード基地とスコット基地 (スコットの探検小屋ふくむ)：

この歴史的場所は、常に行きたい訪問先としてリストアップしますが、氷、海象、天候の状態、そして国家プログラムの砕氷船運用上の要件などにより、特に1月航海では訪問できない場合があります。2月航海では、比較的訪問できる場合が多いですが、それでも訪問の保証はできません。

#### ●テラノバ湾：

イタリアの夏季研究基地であるマリオ・ズッケリ基地は、輸送コンテナの興味深い建造物です。このフレンドリーな科学者やサポートスタッフはいつも親切で、孤独で美しい彼らの拠点を案内してくれます。イタリア

の科学者は様々な研究を行っており、南極で最高の「エスプレッソ」を味わっていると自慢しています。近くには、韓国のチャン・ボゴ基地と時々使用されるドイツのゴンドワナ基地があります。そして、インエクスプレッシブ島には、中国5番目の南極観測基地があります。

#### 第23~25日目 終日航海

キャンベル島に向けて北上します。

何より南極でのエキサイティング毎日の後は、プレゼンテーションを楽しんだり、船内で休息をとりながら、ごゆっくりお過ごしください。

#### 第26日目 パーサピアランスハーバー (キャンベル島)

亜南極地域に属し、ニュージーランド最南端となるキャンベル島は、ブラフから約660km南に位置しています。パーサピアランスハーバーから島内を徒歩で一日かけて探検します。

キャンベル島は、険しい景観、独特の植物相、そして様々な野生動物が生息する、まさに壮大な場所です。私たちが停泊するパーサピアランスハーバーは、時折、ミナミセミクジラが出産のため訪れる避難場所になることがあります。またここには、現在使われていないニュージーランド気象観測所があります。キャンベルウ、ヒガシイワトビペンギン、オットセイ、希少な固有種ニュージーランドアシカなどが生息しています。

キャンベル島でのハイライトは、ミナミシロ

アホウドリが繁殖する丘陵地帯の散策です。キャンベル島には6,000番以上のミナミシロアホウドリが生息しています。この壮麗な鳥は、ワタリアホウドリの近縁種で、大きさもほぼ同じですが、世界最大の翼幅を持ち、その華麗な姿は素晴らしい写真の被写体となります。

#### 第27日目 終日航海

ブラフ港に向けて北上します。旅の記憶が鮮明なうちに今回の写真を整理したり、旅を振り返りながら、仲間と過ごす航海最後の時間をお楽しみください。航海最終日は、フェアウェルディナーもお楽しみいただけます。

#### 第28日目 ㈬ ブラフ入港/下船/ クイーンズタウン解散

朝、ブラフ港へ入港。

船内で朝食と税関手続きを完了させて下船します。

「インバーカーギル空港行き」と「クイーンズタウン空港行き」に団体送迎いたします。到着後、解散。

(注意)探検クルーズでは、様々なアクティビティや寄港地観光を実施しています。しかし天候、海象、氷、野生動物の状態などにより、予定された旅程から変更を必要とする場合があります。航海中は、船長とエクスペディションリーダーが状況判断をし、随時お知らせします。予め自然環境による旅程変更の可能性を秘めている旅行になることご認識ください。

# 世界遺産マッコリー島と亜南極の島々探検クルーズ

## 南大洋のガラパゴス

12  
日間

豊かな生物多様性で古くから知られる亜南極の島々は、世界中で体験できる極地旅行でも最も感動的であり、有益な旅行になること間違いありません。影響力のあるコンデナスト・トラベラー誌にも「2025年に行くべきベスト25の場所」の1つとして、ヘリテージエクスペディションズの航海コースが掲載されました。オーストラリア領マッコリー島とニュージーランド南沖の亜南極の島々は、地球上でも重要な意義深い野生生物の生息地として、180の自然遺産で形成するユネスコ世界遺産に登録されています。オーストラリア政府とニュージーランド政府による最高レベルの保護保全がされ、これら島々への立ち入りは、許可された運航会社のみ探検クルーズができます。

ヘリテージエクスペディションズは、1989年にニュージーランド初の探検クルーズを企画し、数百以上もの航海経験を経て、極地旅行で最も経験豊富な運航会社として、これら亜南極の島々探検クルーズは、当社の代表的なツアーの1つとなっています。当局の保護区とされる亜南極の島々における最初の認可事業者として、保護当局とも良好な関係が築かれ、ヘリテージエクスペディションズが保有するアクセス許可は、この探検クルーズを特長とするとしています。

南大洋のガラパゴスと言われるほど、亜南極の島々は、冷温帯に位置し、独特の気候は、アホウドリ、ペンギン、ウミツバメ、クジラドリ、ミズナギドリ、オットセイやゾウアザラシなどの海洋哺乳類など驚くべき生物多様性と野生動物の聖域となっています。また植物相も魅力的で、その多くは海鳥同様に固有種が島々に生息します。

- 集合地/解散地：クイーンズタウン(ニュージーランド)
- 宿泊ホテル：コブソーンホテル&リゾートクイーンズタウンレイクフロント、ホリデイインクイーンズタウンリマーカブルパークby IHG
- 食事条件：朝食11回、昼食10回、夕食11回

### ● スケジュール

日次	日程	食事 朝 昼 夕	宿泊
1	ニュージーランドのクイーンズタウン到着 ヘリテージ社提供ホテル宿泊	H	クイーンズ タウン
2	自由行動 宿泊ホテルからブラフ港へ団体送迎 ブラフ港到着後、客船に乗船 ニュージーランド最南端の <b>ブラフを出港</b>	H H O	船中
3	終日 ノースイースト島(スネアーズ島諸島)	O O O	船中
4	終日 エンダービー島(オークランド諸島)	O O O	船中
5	終日 カーンリーハーバー(オークランド諸島)	O O O	船中
6	終日 航海	O O O	船中
7	終日 マッコリー島(オーストラリア領)	O O O	船中
8	終日 マッコリー島(オーストラリア領)	O O O	船中
9	終日 航海	O O O	船中
10	終日 パーサピアランスハーバー(キャンベル島)	O O O	船中
11	終日 航海	O O O	船中
12	朝 <b>ブラフ入港/下船</b> 下船後、インバーカーギル市内中心地 またはクイーンズタウン空港/町中まで団体送迎 クイーンズタウン着後、解散	O	

※上記スケジュール中、食事欄の「○」は船内食、「H」はホテルでの食事を表します。



※記載の地図はイメージです。





©Graham Young

## ●詳細日程

### 第1日目 ニューージーランドの クイーンズタウン到着

アルパインリゾート地として有名なニューージーランドのクイーンズタウンに到着。到着後、お客様各自で提供ホテルまでお越しください。

夜、ホテルにて夕食会を開催します。これから始まる冒険を共にする仲間と一緒に夕食や交流をお楽しみください。

### 第2日目 クイーンズタウン発 ブラフ港着／乗船／出港

朝、ホテルにて朝食をご用意しております。午前中は、クイーンズタウンでの自由時間をお楽しみください。

午後、ホテルにて昼食をとった後、乗船地ブラフ港に向けて出発、団体送迎でお送ります。ブラフ港到着後、客船に乗船。乗船後は各客室で一息の時間や船内でお過ごしいただけます。また乗船後は、エクスペディションチームや乗組員の紹介、安全説明、避難訓練などいくつかのイベントを実施します。

夕方、客船はいよいよ最初の目的地スネアーズ諸島に向けて針路をとり、ブラフ港を出港。ラウンジやデッキからは最初の出港風景をお楽しみください。

### 第3日目 ノースイースト島 (スネアーズ諸島)

ニューージーランドに最も近い亜南極の島で、1795年、発見者ブロートン中尉によって、船の航行が危険な場所と見做され、スネアーズ(罟)と呼ばれていました。主要な2つ島とウェスタンチェーンと呼ばれる5つの島からなる群島は、無人島であり、厳重な保護区となっています。

ノースイースト島(北東島)は、スネアーズ諸島最大で、この1つの島に、イギリス全土に生息する海鳥を超える数の多くの海鳥が営巣しています。天候や海象状態が良ければ、早朝に到着し、ソディアックボートで東側の険しい海岸線をクルージングします。(上陸は許可されていません)。

保護された湾では、固有種のハシブペンギン(英名Snares Crested Penguin)、ニュージ

ランドヒタキ、シダカッセを見ることができません。マダラフルマカモメやナンキョクアジサシも多数生息しています。またスネアーズ諸島には、実際の数については多くの議論がありますが、何十万羽ものハイロミズナギドリが営巣しています。毎年クリスマスの頃、ニューージーランドアホウドリも巣作りのために、ここへ戻ってきます。

島々の大部分を覆うように生い茂る、オレアリア・リアリー(Olearia lyallii)は、大型の樹木性のデージー(ヒナギク)です。

(注意)スネアーズ諸島への上陸は、規制により予め許可されていません。

### 第4日目 エンダービー島 (オークランド諸島)

オークランド諸島は、約1,000~2,500万年前に噴火した2つの火山によって形成されました。その後、氷河作用の侵食と分断により、現在の群島が形成されています。この群島の中で最も美しい島がエンダービー島で、有名な海運一家にちなんで名付けられました。

次ページに続く

## 集合：クイーンズタウン到着の注意

日程1日目は、お客様ご自身で指定ホテルまでお越しください。到着空港から集合提供ホテルまでの送迎は含まれておりません。

提供ホテルでは、15時から夜8時までの間、ヘリテージ現地スタッフが到着受付を行い、翌日の予定を含むウェルカムパックのご案内をいたします。この受付時間内に提供ホテルへ到着できるよう、ご旅行計画ください。

※クイーンズタウン空港は、天候状況によりフライトスケジュール変更の影響を受けることがあります。余裕をもってご到着することをお勧めします。

## 解散：クイーンズタウン出発の注意

通常、朝、ブラフ港に入港し、下船開始となります。下船手続きには、ニューージーランド入国手続きが含まれ、約1~2時間を要します。

下船後は、「インバーカーギル行き」と「クイーンズタウン行き」に団体送迎いたします。天候海象や港湾状況により、予期せぬ下船遅延、および交通状況による送迎遅延が発生する場合があります。下船後のお客様の予定も余裕を持ったご旅行計画をお勧めします。

下船後の旅行計画は、次のガイダンスが推奨されます。これら時刻以前のご旅行計画はお控えください。

- インバーカーギル発のフライトスケジュールは、午後12:00以降をお手配ください。
- クイーンズタウン発のフライトスケジュールは、午後03:00以降をお手配ください。



©L Tough



©SBlanc



©Heritage Expeditions

## 詳細日程

群島の最北端に位置するこの島は、野生生物や野鳥の生息地であり、比較的簡単に上陸が可能で、野生動物の観察や上陸観光に絶好の機会となります。1994年、人間が持ち込んだ動物や害虫による外来種の影響を一掃し、鳥類や植生、特に草本植物が、数と多様性の両方で回復しています。

私たちは、ニュージーランド固有種であるフッカーズ(ニュージーランドアシカ)のオークランド諸島にある3つの繁殖地の1つであるサンディベイ(砂浜の湾)に上陸を予定しています。浜辺には繁殖の主であるオスのアシカが、ハーレムを守り、一頭が子を出産した直後にメスと交尾し繁殖しています。上陸観光では、長めの散策や短めの散策などいくつかの選択肢で目的や体力に合わせて上陸観光をお楽しみいただけます。野生動物の観察や、ドラマチックな景観が続く西岸の崖まで続く、島を横断できる遊歩道、そしてそこから海岸線を進み島一周できるハイキングもお楽しみいただけます。

この島で遭遇する可能性のある野生動物は、次の通りです。ミナミシロアホウドリ、キタオオフルマカモメ、オークランドウ、クリイロコガモ、オークランドチャオビチドリ、オークランドニュージーランドヒタキ、スズドリ、タヒバリ、アオハシインコ、キンメペンギン、ハイイロアホウドリ。またオークランドシギを見られる可能性も期待できます。

また、より一般的な種は、ゴシキヒワ、ウタツグミ、クロウタドリ、ホシムクドリ、アカハシギンカモメ、ベニヒワなどがいます。

デリーキャスルリーフでは、オオソリハシギ、キョウジョシギなどを含む迷鳥や渡り鳥を見

られるかもしれません。

### 第5日目 カーンリーハーバー (オークランド諸島)

群島の南には、難破船、トレジャーハンター、連合軍の沿岸監視部隊(コーストウォッチャーズ)、そしてもちろん科学研究など、人類の豊富な歴史がこの広大な保護された湾内にあります。

午前中、客船は、両側の険しい断崖とタソック草に覆われた起伏のある丘に囲まれた、東側の入り口から入っていきます。

今日の観光は、いくつかの選択肢にわかれて活動します。天候にも左右されますが、体力に自信のある方は、ハジロアホウドリの営巣地を訪れる南西岬の登山ができます。この登山は、カーンリーハーバー西側入り口やアダムス島、ウェスタンハーバーの素晴らしい景色が望めます。

登山をしない方は、アダムス島、ウェスタンハーバー、ビクトリア海峡の沿岸をゾディアッククルーズします。その他、第二次世界大戦の際に使用されていた、ダグア湾の沿岸監視小屋と見張り台を訪れることもできます。

1864年に難破したグラフトン号の残骸とエビグワットを訪れることもできます。ここは、ニュージーランドの救助を求めて、5人の全乗組員が18ヶ月間、小型ヨット改造して過酷なサバイバル生活をして、生還した場所です。生存者のうち2人が、当時の苦難を綴った本を出版し、彼らの体験談は、ここでの生活について多くを語っています。

午後マッコリー島に向けて出港します。

### 第6日目 終日航海

『狂う50度』と呼ばれる海域を航行して、マッコリー島を目指します。航海中は、亜南極の島々の生物や歴史について、専門家によるプレゼンテーションをお楽しみいただけます。

また風に乗った、ワタリアホウドリ、シロアホウドリ、ハジロアホウドリ、ハイイロアホウドリ、ハイガシラアホウドリ、ムグロアホウドリ、ノドジロクロミズナギドリ、マダラシロハラミズナギドリ、メグロシロハラミズナギドリ、マダラフルマカモメ、モグリウミツバメ、ヒメアシナガウミツバメ、クロハラアシナガウミツバメなど海鳥たち観察機会があります。

決して簡単ではありませんが、ヒメクジラドリ、アツハシクジラドリ、ナンキョククジラドリの観察機会も得られるかもしれません。探検クルーズでは、珍しい種を見られるバードウォッチングも魅力的です。

### 第7~8日目 マッコリー島 (オーストラリア領)

オーストラリア領の亜南極の島で、南極海でも有数の野生生物が生息しています。キングペンギン、ヒガシイワトビペンギン、ゼンツーペンギン、そして固有種のロイヤルペンギンの4種のペンギンが何百万羽も繁殖しています。私たちは、サンディ湾とバックルズ湾の承認された2ヶ所の上陸地点から上陸します。気象条件が許せばルシタニア湾でのゾディアッククルージングもお楽しみいただけます。

サンディ湾にはロイヤルペンギンの営巣地があり、頭部の金色の飾り羽を揺らして、活発に浜辺を行き来しています。約300万羽いるロイヤル



©TBlackford

ペンギンは、世界中でここマッコリー島のみに繁殖します。またこの島には、キングペンギンの巨大な営巣地もあります。

ペンギンたちは臆病でありながら、好奇心旺盛で、この様子を間近に観察できる最高体験となるでしょう。

バックルズ湾では、1940年代後半に設立され、それ以来継続的に人員が配置されているオーストラリア南極観測局があります。

上陸観光では、砂浜や草むらに多くのゾウアザラシが寝そべっている所に遭遇するでしょう。この巨大な生き物は、毎年群れで横たわり脱皮を行います。私たち上陸者の存在はほとんど気にしていません。若いオスは浜辺で力比べし、成熟期にハーレムを養うための準備をして過ごしています。ルンタニア湾のキングペンギン巨大営巣地は、驚くほど壮観です。ゾディアッククルーズでは、キングペンギンが群れで直立不動で立っている様子や海中をイルカのように飛び跳ねながら泳いでいる様子を見られるでしょう。

浜辺に見える錆びた蒸解釜は、かつて多くのペンギンが虐殺され製油されていた時代を痛ましく思い起こされます。現在は彼らの子孫たちが、この領土を取り戻し、繁殖しています。また島を管理する基地局は、7年間による意欲的な駆除プログラムに着手し、2014年に島内の害獣ゼロを達成しております。鳥類と植生がそれに応える形で、再生と増加を目の当たりにしています。

この島には、ペンギンとゾウアザラシに加えて、3種のオットセイと4種のアホウドリ(ワタリアホウドリ、マコグロアホウドリ、肺頭アホウドリ、ハイ

イロアホウドリ)も生息する素晴らしい島です。

### 第9日目 終日航海

キャンベル島に向けて北上します。

プレゼンテーションやデッキでバードウォッチングを楽しんだり、船内で休息をとりながら、ごゆっくりお過ごしください。

### 第10日目 パーサピアランスハーバー (キャンベル島)

亜南極地域に属し、ニュージーランド最南端となるキャンベル島は、ブラフから約660km南に位置しています。パーサピアランスハーバーから島内を徒歩で一日かけて探検します。

1810年に発見されたこの島は、すぐにアザラシ猟師により占拠され、それと同時に外来種のネズミやネコが持ち込まれました。1895～1934年までは農業も行われています。戦時中は、沿岸監視員が島に駐在し、終戦後、ニュージーランド気象局がこの基地を引き継いで、1995年まで有人の気象観測所として運営されていました。1970年代初頭から始まった家畜の駆除は、1990年までですべて駆除され、その後影響下にあった植生は急速に回復しています。ネコは自然に絶滅しましたが、外来種のネズミは生存していたため、ニュージーランド自然保護局は、前例にないほどの大規模な駆除プログラムを施行し、完全なネズミ駆除に成功した歴史があります。

捕食者である外来種がいない島と宣言されたことで、1975年、沖合の島で再発見された飛べない鴨の一種であり、絶滅危惧種のキャンベルコガモの再導入への道が開かれました。かつて島

に生息していなかったものの、別の沖合の島で発見されたタシギも、島に再び定着しました。

1841年、偉大なイギリスの植物学者ジョセフ・フッカー卿は、「熱帯地方以外で、ここは比類のない植物相」と評したこの島の植生は、今もお豊かに生い茂り、その光景は壮観です。

キャンベル島での観光活動は、ノースウェスト湾への長距離ハイキングやコル・ライアル・サドルへの簡単なハイキングなど様々な選択肢を用意して上陸観光を楽しめます。またこの島に営巣するミナミシロアホウドリを観察する機会も十分あり、島が誇る巨大草本植物の素晴らしい群生地も訪れることができます。

### 第11日目 終日航海

ブラフ港に向けて北上します。旅の記憶が鮮明なうちに今回の写真を整理したり、旅を振り返りながら、仲間と過ごす航海最後の時間をお楽しみください。航海最終日は、フェアウェルディナーもお楽しみいただけます。

### 第12日目 山 ブラフ入港/下船/クイーンズタウン解散

朝、ブラフ港へ入港。船内で朝食と税関手続きを完了させて下船します。

「インバーカーギル空港行き」と「クイーンズタウン空港行き」に団体送迎いたします。到着後、解散。

(注意)探検クルーズでは、様々なアクティビティや寄港地観光を実施しています。しかし天候、海象、氷、野生生物の状態などにより、予定された旅程から変更を必要とする場合があります。航海中は、船長とエクスペディションリーダーが状況判断をし、随時お知らせします。予め自然環境による旅程変更の可能性を秘めている旅行になることご認識ください。

# チャタム諸島と亜南極の島々探検クルーズ

**17**  
日間

©K.Ovsyanikova



スネアーズ諸島、バウンティ諸島、アンティポデス諸島、オークランド諸島、キャンベル島、マッコリー島、チャタム諸島。これら地名を耳にしたことがありますでしょうか。バードウォッチャーにとっては、まさに心地よい響きとなる場所になるでしょう。チャタム諸島を除き、これらの島々は1700年代後半から1800年代初頭に発見された当時よりも、現在の方が孤立しているとも言えます。当時は、アザラシ猟師、捕鯨業者、そして遭難した船員を探す政府の汽船が頻繁に訪れていましたが、現在は、これら島々に訪れる機会は滅多にありません。そんな亜南極のすべての島々を探検できる唯一のコースです。

これらの島々は、吠える40度や狂う50度という、風の強い緯度帯に位置していますが、アホウドリの緯度帯としても知られており、世界の10種のアホウドリのうち、10種がこの地域に繁殖しています。そのうち5種は、この地域でのみ繁殖する種です。世界で最も多様な海鳥が生息する場所として、40種以上がこれら地域で繁殖し、世界中の海鳥個体数の少なくとも11%に相当します。またチャタム諸島を除く、これら島々は、ユネスコ世界遺産に登録され、オーストラリア政府とニュージーランド政府による最高レベルの保護保全がされ、これら島々への立ち入りは、許可された運航会社のみ探検クルーズができます。チャタム諸島も同様に保護保全が講じられており、それら島々に訪れる機会もあります。

この探検クルーズは、クルーズ旅行好き、ペンギン好き、動物好き、写真家にとっても非常に魅力的で、バードウォッチング愛好家でなくとも、十分クルーズ旅行を楽しむことができます。亜南極の島々とその生態系、植物、地質、歴史の発見と探検の旅をお楽しみください。

- 集合地 / 解散地：クイーンズタウン(ニュージーランド)
- 宿泊ホテル：コブソーンホテル&リゾートクイーンズタウンレイクフロント、ホリデイインクイーンズタウンリマーカーブルズパークby IHG
- 食事条件：朝食16回、昼食15回、夕食16回



©S.Blanc



※記載の地図はイメージです。

## ●スケジュール

日次	日程	食事			宿泊
		朝	昼	夕	
1	ニュージーランドのクイーンズタウン到着 ヘリテージ社提供ホテル宿泊			H	クイーンズ タウン
2	自由行動 宿泊ホテルからブラフ港へ団体送迎 午後 夕方 ブラフ港到着後、客船に乗船 ニュージーランド最南端の <b>ブラフ</b> を出港		H	H O	船中
3	終日 ノースイースト島(スネアーズ島諸島)	O	O	O	船中
4	終日 エンダービー島(オークランド諸島)	O	O	O	船中
5	終日 航海	O	O	O	船中
6	終日 マッコリー島(オーストラリア領)	O	O	O	船中
7	終日 マッコリー島(オーストラリア領)	O	O	O	船中
8	終日 航海	O	O	O	船中
9	終日 パーサピアランスハーバー(キャンベル島)	O	O	O	船中
10	終日 航海	O	O	O	船中
11	終日 アンティポデス諸島	O	O	O	船中
12	終日 バウンティ諸島	O	O	O	船中
13	終日 ピラミッドロックとサウスイースト島(チャタム諸島)	O	O	O	船中
14	終日 ワイトンギ(チャタム諸島)	O	O	O	船中
15	終日 航海	O	O	O	船中
16	終日 航海	O	O	O	船中
17	朝 <b>ブラフ入港/下船</b> 下船後、インバーカーギル市内中心地 またはクイーンズタウン空港/町中まで団体送迎 クイーンズタウン着後、解散	O			

※上記スケジュール中、食事欄の「O」は船内食、「H」はホテルでの食事を表します。



©A. Russ

## ● 詳細日程

### 第1日目 ニュージーランドのクイーンズタウン到着

アルパインリゾート地として有名なニュージーランドのクイーンズタウンに到着。到着後、お客様各自で提供ホテルまでお越しください。

夜、ホテルにて夕食会を開催します。これから始まる冒険を共にする仲間と一緒に夕食や交流をお楽しみください。

### 第2日目 クイーンズタウン発 ブラフ港着 / 乗船 / 出港

朝、ホテルにて朝食をご用意しております。午前中は、クイーンズタウンでの自由時間をお楽しみください。

午後、ホテルにて昼食をとった後、乗船地ブラフ港に向けて出発、団体送迎でお送ります。ブラフ港到着後、客船に乗船。乗船後は各客室で一息の時間や船内でお過ごしいただけます。また乗船後は、エクスペディションチームや乗組員の紹介、安全説明、避難訓練などいくつかのイベントを実施します。

夕方、客船はいよいよ最初の目的地スネアーズ諸島に向けて針路をとり、ブラフ港を出港。ラウンジやデッキからは最初の出港風景をお楽しみください。

### 第3日目 ノースイースト島 (スネアーズ諸島)

ニュージーランドに最も近い亜南極の島で、1795年、発見者プロートン中尉によって、船の航行が危険な場所と見做され、スネアーズ(罠)と呼ばれていました。主要な2つ島とウェスタンチェーンと呼ばれる5つの島からなる群島は、無人島であり、厳重な保護区となっています。

ノースイースト島(北東島)は、スネアーズ諸島最大で、この1つの島に、イギリス全土に生息する海鳥を超える数の多くの海鳥が営巣しています。天候や海象状態が良ければ、早朝に到着し、ゾディアックボートで東側の険しい海岸線をクルージングします。(上陸は許可されていません)。

保護された湾では、固有種のハシフトペンギン(英名Snares Crested Penguin)、ニュージーランドヒタキ、シダカッセを見ることができ、マダラフルマカモメやナンキョクアジサシも多数生息しています。またスネアーズ諸島には、実際の数については多くの議論がありますが、何十万羽ものハイイロミズナギドリが営巣しています。毎年クリスマスの頃、ニュージーランドアホウドリも巣作りのために、ここへ戻ってきます。

島々の大部分を覆うように生い茂る、オレアリア・リアリー(Olearia lyallii)は、大型の樹木性のデージー(ヒナギク)です。

(注意)スネアーズ諸島への上陸は、規制により予め許可されていません。

### 第4日目 エンダービー島 (オークランド諸島)

オークランド諸島は、約1,000~2,500万年前に噴火した2つの火山によって形成されました。その後、氷河作用の侵食と分断により、現在の群島が形成されています。この群島の中で最も美しい島がエンダービー島で、有名な海運一家にちなんで名付けられました。

群島の最北端に位置するこの島は、野生生物や野鳥の生息地であり、比較的簡単に上陸が可能で、野生動物の観察や上陸観光に絶好の機会となります。1994年、人間が持ち込んだ動物や害虫による外来種の影響を一掃し、鳥類や植生、特に草本植物が、数と多様性の両方で回復しています。

私たちは、ニュージーランド固有種であるフッカーズ(ニュージーランドアシカ)のオークランド諸島にある3つの繁殖地の1つであるサンディベイ(砂浜の湾)に上陸を予定しています。

次ページに続く

## 集合：クイーンズタウン到着の注意

日程1日目は、お客様ご自身で指定ホテルまでお越しください。到着空港から集合提供ホテルまでの送迎は含まれておりません。

提供ホテルでは、15時から夜8時までの間、ヘリテージ現地スタッフが到着受付を行い、翌日の予定を含むウェルカムパックのご案内をいたします。この受付時間内に提供ホテルへ到着できるよう、ご旅行計画ください。

※クイーンズタウン空港は、天候状況によりフライトスケジュール変更の影響を受けることがあります。余裕をもってご到着することをお勧めします。

## 解散：クイーンズタウン出発の注意

通常、朝、ブラフ港に入港し、下船開始となります。下船手続きには、ニュージーランド入国手続きが含まれ、約1~2時間を要します。

下船後は、「インバーカーギル行き」と「クイーンズタウン行き」に団体送迎いたします。天候海象や港湾状況により、予期せぬ下船遅延、および交通状況による送迎遅延が発生する場合があります。下船後のお客様の予定も余裕を持ったご旅行計画をお勧めします。

下船後の旅行計画は、次のガイダンスが推奨されます。これら時刻以前のご旅行計画はお控えください。

- **インバーカーギル発**のフライトスケジュールは、**午後12:00以降**をお手配ください。
- **クイーンズタウン発**のフライトスケジュールは、**午後03:00以降**をお手配ください。



©K.Ovsyanikova ©SBlanc



## ● 詳細日程

浜辺には繁殖の主であるオスのアシカが、ハーレムを守り、一頭が子を出産した直後にメスと交尾し繁殖しています。上陸観光では、長めの散策や短めの散策などいくつかの選択肢で目的や体力に合わせて上陸観光をお楽しみいただけます。野生動物の観察や、ドラマチックな景観が続く西岸の崖まで続く、島を横断できる遊歩道、そしてそこから海岸線を進み島一周できるハイキングもお楽しみいただけます。

この島で遭遇する可能性のある野生動物は、次の通りです。ミナミシロアホウドリ、キタオオフルマカモメ、オークランドウ、クリイロコガモ、オークランドチャオビチドリ、オークランドニュージーランドヒタキ、スズドリ、タヒバリ、アオハシインコ、キンメペンギン、ハイイロアホウドリ。またオークランドシギを見れる可能性も期待できます。

またより一般的な種は、ゴシキヒワ、ウタツグミ、クロウタドリ、ホシムクドリ、アカハシギンカモメ、ベニヒワなどがいます。

デリーキャッスルリーフでは、オオソリハシシギ、キョウジョシギなどを含む迷鳥や渡り鳥を見られるかもしれません。

### 第5日目 終日航海

『狂う50度』と呼ばれる海域を航行して、マッコリー島を目指します。航海中は、亜南極の島々の生物や歴史について、専門家によるプレゼンテーションをお楽しみいただけます。

また風に乗った、ワタリアホウドリ、シロアホウドリ、ハジロアホウドリ、ハイイロアホウドリ、ハイガシラアホウドリ、マユグロアホウドリ、ノジロクロミズナギドリ、マダラシロハラミズナギドリ、メグロシロハラミズナギドリ、マダラフルマカモメ、モグリウミツバメ、ヒメアシナガウミツバメ、クロハラアシナガウミツバメなど海鳥たち観察機会があります。

決して簡単ではありませんが、ヒメクジラドリ、アツハシクジラドリ、ナンキョククジラドリを観察機会も得られるかもしれません。

探検クルーズでは、珍しい種を見られるバードウォッチングも魅力的です。

### 第6~7日目 マッコリー島 (オーストラリア領)

オーストラリア領の亜南極の島で、南極海でも有数の野生生物が生息しています。キングペン

ギン、ヒガシイワトビペンギン、ゼンツーペンギン、そして固有種のロイヤルペンギンの4種のペンギンが何百万羽も繁殖しています。私たちは、サンディ湾とバックルズ湾の承認された2ヶ所の上陸地点から上陸します。気象条件が許せばルシタニア湾でのゾディアッククルージングもお楽しみいただけます。

サンディ湾にはロイヤルペンギンの営巣地があり、頭部の金色の飾り羽を揺らして、活発に浜辺を行き来しています。約300万羽いるロイヤルペンギンは、世界中でここマッコリー島のみで繁殖します。またこの島には、キングペンギンの巨大な営巣地もあります。ペンギンたちは臆病でありながら、好奇心旺盛で、この様子を間近に観察できる最高体験となるでしょう。

バックルズ湾では、1940年代後半に設立され、それ以来継続的に人員が配置されているオーストラリア南極観測局があります。上陸観光では、砂浜や草むらに多くのゾウアザラシが寝そべっている所に遭遇するでしょう。この巨大な生き物は、毎年群れで横たわり脱皮を行います。私たち上陸者の存在はほとんど気にしていません。若いオスは浜辺で力比べし、成熟期にハーレムを養うための準備をして過ごしています。

ルシタニア湾のキングペンギン巨大営巣地は、驚くほど壮観です。ゾディアッククルーズでは、キングペンギンが群れで直立不動で立っている様子や海中をイルカのように飛び跳ねながら泳いでる様子を見られるでしょう。浜辺に見える錆びた蒸解釜は、かつて多くのペンギンが虐殺され製油されていた時代を痛ましく思い起こされます。現在は彼らの子孫たちが、この領土を取り戻し、繁殖しています。また島を管理する基地局は、7年間による意欲的な駆除プログラムに着手し、2014年に島内の害獣ゼロを達成しております。鳥類と植生がそれに応える形で、再生と増加を目の当たりにしています。

この島には、ペンギンとゾウアザラシに加えて、3種のオットセイと4種のアホウドリ(ワタリアホウドリ、マユグロアホウドリ、肺頭アホウドリ、ハイイロアホウドリ)も生息する素晴らしい島です。

### 第8日目 終日航海

キャンベル島に向けて北上します。

プレゼンテーションやデッキでバードウォッチングを楽しんだり、船内で休息をとりながら、ごゆっくりお過ごしください。

### 第9日目 パーサピアランスハーバー (キャンベル島)

亜南極地域に属し、ニュージーランド最南端となるキャンベル島は、ブラフから約660km南に位置しています。パーサピアランスハーバーから島内を徒歩で一日かけて探検します。1810年に発見されたこの島は、すぐにアザラシ猟師により占拠され、それと同時に外来種のネズミやネコが持ち込まれました。

1895~1934年までは農業も行われていました。戦時中は、沿岸監視員が島に駐在し、終戦後、ニュージーランド気象局がこの基地を引き継いで、1995年まで有人の気象観測所として運営されていました。1970年代初頭から始まった家畜の駆除は、1990年までにすべて駆除され、その後影響下にあった植生は急速に回復しています。ネコは自然に絶滅しましたが、外来種のネズミは生存していたため、ニュージーランド自然保護局は、前例にないほどの大規模な駆除プログラムを施行し、完全なネズミ駆除に成功した歴史があります。

捕食者である外来種がない島と宣言されたことで、1975年、沖合の島で再発見された飛べない鴨の一種であり、絶滅危惧種のキャンベルコガモの再導入への道が開かれました。かつて島に生息していなかったものの、別の沖合の島で発見されたタシギも、島に再び定着しました。

1841年、偉大なイギリスの植物学者ジョセフ・フッカー卿は、「熱帯地方以外で、ここは比類のない植物相」と評したこの島の植生は、今もなお豊かに生い茂り、その光景は壮観です。

キャンベル島での観光活動は、ノースウェスト湾への長距離ハイキングやコル・ライアル・サドルへの簡単なハイキングなど様々な選択肢を用意して上陸観光を楽しめます。またこの島に営巣するミナミシロアホウドリを観察する機会も十分あり、島が誇る巨大草本植物の素晴らしい群生地も訪れることができます。

### 第10日目 終日航海

アンティポデス諸島に向かう航海は、バードウォッチングに最適な日となります。

ワタリアホウドリ、シロアホウドリ、マユグロアホウドリ、キャンベルアホウドリ、ハイイロアホウドリ、サルビンアホウドリ、ハイガシラアホウドリ、キタオオフルマカモメ、オオフルマカモメ、ハイイロミズナギドリ、ヒメミズナギドリがこの海域



©S. Bradley



©Heritage Expeditions

でよく見られています。南極海のこの海域は、ヒメクジラドリ、ハシブトクジラドリ、ナンキョククジラドリと一緒に生息する数少ない場所の1つであり、比較する機会もあるかもしれません。

### 第11日目 アンティポデス諸島

アンティポデス諸島は、ニュージーランドの亜南極諸島の中で最も孤立し、最も知られていない島です。1806年、島が発見された後に数十年間、アザラシ猟師達が住んでいました。その際に、島に持ち込まれた外来種のネズミは、現在、根絶のために努力が行われています。

島々は火山起源とし、特に西海岸は激しい侵食が見られます。諸島最大の島は、アンティポデス島です。この島は、上陸が許可されていないため、ゾディアックボートで海岸線をクルーズします。ニュージーランド最大のインコであり、頭部全体が緑色の模様をした固有種のアオハシインコを見られるチャンスがあるかも知れません。また、オークランド諸島とチャタム諸島で見つかったアオハシインコ亜種となるライシェックアオハシインコも探します。さらにニュージーランドタヒバリ亜種となるアンティポデス種も見られます。シュレーターペンギンとヒガシイワトビペンギンは、海岸沿いに混合して営巣している可能性もあります。

### 第12日目 バウンティ諸島

バウンティ諸島は、ニュージーランドの5つの亜南極の諸島で最北端に位置します。この諸島は、1788年、バウンティ号のウィリアム・ブライによって発見されました。ここは、かつての海底台地だった場所の先端にあたり、荒涼とした花崗岩の岩山に、南大洋の荒波が打ち付けられています。バウンティ諸島は、何千ものサルビンアホウドリの生息地があり、シュレーターペンギン、ハシブトクジラドリや世界で最も希少種といえる固有種バウンティヒメウもいます。

天候と海象条件が許せば、花崗岩の沿岸をゾディアッククルーズし、そこで繁殖する野生動物たちを観察します。亜南極の島々で絶滅寸前まで狩猟されていたニュージーランドオットセイも多数生息しています。

航海がチャタム諸島へ針路を向けるとワタリアホウドリ、キタシロアホウドリ、マダラシロハラミズナギドリ、カオジロミズナギドリ、ヒロハシクジラドリ、ノドジロクロミズナギドリ、スジハラアシナガウミツバメ、アシナガウミツバメなど様々な

鳥類を観察する機会も増えていくでしょう。その他オークランドハシロアホウドリ、キタオオフルマカモメ、マダラフルマカモメ、ギンフルマカモメ、ハイロミズナギドリ、ヒメミズナギドリ、ヒメアシナガウミツバメ、チャタムミズナギドリにも目を光らせます。

### 第13日目 ピラミッドロックとサウスイースト島 (チャタム諸島)

チャタム諸島へ向かう航海では、バードウォッチングの絶好の機会です。またニュージーランドで最も絶滅の危機に瀕する種の1つでもありチャタム諸島の固有種チャタムタイコ(別名マゼンタミズナギドリ)を見られた履歴もある地域です。この種は、個体数150羽未満と推定される世界で最も希少な海鳥と言えます。

午後、ピット島南部にある玄武岩が隆起する壮大なピラミッドロック周辺をクルーズします。ここはチャタムアホウドリが唯一営巣する場所です。

サウスイースト島へ訪れることもできます。しかし、世界でも有数の自然保護区となり上陸は許可されていません。ゾディアッククルーズで海岸を探索しながら、珍しいニュージーランドノドグロチドリやチャタムミヤコドリを観察や営巣するピットウが見られるかもしれません。

### 第14日目 ワイタンギ(チャタム諸島)

チャタム諸島は、大きな島1つと多数の小さな島や岩礁で構成されています。そのうち2つの島に人間が住んでいます。ここはニュージーランドの最東端の領土となり、元々は東ポリネシア人が定住していました。1400年代の島民は孤立しており、興味深い独自の文化を発展させてきました。

1790年代にヨーロッパ人によってこれら群島が発見され、その後アザラシ猟や入植者が入り込み、1830年代には、ニュージーランドのマオリ族の侵略があり、多くの先住民が殺害や奴隷とされました。入植者やヨーロッパ人そしてマオリ族が入り込み、外来種の動物、狩猟、火事、森林伐採が起こり、これら島々の固有の動植物は壊滅的な影響を受け、多くの固有の鳥類が絶滅していきました。幸いには、群島の沖合の島々に生息していた鳥類は生き残っています。

現代の到来とともに、自然協調と保全活動に対して意欲的な取り組みが生まれ、多くの私設保護区が設立され、植物の植え替えや外来捕食種

の駆除が行われています。

探検クルーズは、本島南岸にある、地元家族が設立した私設保護区を訪れます。ここでは、チャタム諸島の固有種チャタムバトやチャタムセンニョムシクイと出会う可能性があります。チャタムバトは、近年まで絶滅寸前でしたが、現在は個体数を回復しています。

保護区までは、地元のバスで移動し、道中は、開発された農地や外来種が見られ、運が良いとニュージーランドクイナに出会えることもあります。またワイタンギ上陸地点付近では、チャタム諸島の固有種チャタムウを見られる可能性が高いです。

午後の観光は、南岸に沿ってクルーズし、チャタムタイコ唯一の繁殖地を探索します。またチャタムミズナギドリにとっても天敵のいない海域として新たに個体群を確立しようと試みている場所でもあります。

### 第15~16日目 終日航海

ブラフ港へ向けて航海します。

途中、ニュージーランド南島付近から東へ延びているジランディア大陸の浅く海底に沈んだ大きなチャタム海嶺を横断します。ここは、南からの冷たい海水と北からの温暖な海水が混ざり合う、栄養豊富な海域で、外洋性生物と南方海域に生息する鳥類が重なり、多くの動物を観察できる場所です。

旅の記憶が鮮明なうちに今回の写真を整理したり、旅を振り返りながら、仲間と過ごす航海最後の時間をお楽しみください。航海最終日は、フェアウェルディナーもお楽しみいただけます。

### 第17日目 船内クルーズ / 下船 / クイーンズタウン解散

朝、ブラフ港へ入港。船内で朝食と税関手続きを完了させて下船します。

「インバーカーギル空港行き」と「クイーンズタウン空港行き」に団体送迎いたします。到着後、解散。

(注意)探検クルーズでは、様々なアクティビティや寄港地観光を実施しています。しかし天候、海象、氷、野生生物の状態などにより、予定された旅程から変更を必要とする場合があります。航海中は、船長とエクスパティションリーダーが状況判断をし、随時お知らせします。予め自然環境による旅程変更の可能性を秘めている旅行になることをご認識ください。

# 旅行準備

## ●パスポート

残存有効期間は、「帰国日から6ヶ月以上有効」なものが必要です。

## ●海外旅行保険

当社の探検クルーズに参加する場合、傷害死亡、傷害後遺障害、治療救済費用を含む包括的な海外旅行保険への加入が義務付けられております。航海は、緊急時の医療処置が困難な遠隔地を訪れます。そのため、すべてのお客様に、遠隔地での医療避難補償を含む適切な海外旅行保険にご加入いただく必要があります。特に医療搬送は非常に高額な費用が発生し、一人当たり亜南極諸島US\$150,000、南極ロス海US\$250,000を超える金額になる場合があります。

### 【注意事項】

- すべての探検クルーズは海外旅行保険の加入が義務付けられています。保険未加入のお客様は乗船をお断りする場合があります。
- すべての探検クルーズは、完全な医療避難/本国送還が補償される保険が必須です。入院または医療処置が必要な場合、医療に伴う費用はすべてお客様の負担となります。ご加入の保険が、渡航先でこれら補償内容が含まれ、持病についても補償されることをご確認ください。既往症があり、海外旅行保険が補償できない場合はご相談ください。
- ご自身で保険を手配される場合は、上陸観光、ゾディアッククルーズ、チャーター便、カヤックなどのオプション・アクティビティなど、含まれるすべてのアクティビティがカバーされているかどうかをご確認ください。
- 申込金の損失やキャンセルに関する保険プランも推奨されています。
- キャンセルの場合、当社のパンフレットおよびウェブサイトに記載されている当社の利用規約が適用されます。

## ●持病をお持ちのお客様へ

かかりつけの担当医に探検旅行に行くことをご相談することをお勧めします。もしも旅行中の健康状態に変化が見られたときに予防措置として、常用している医療薬品は、多めにご持参し、機内持ち込みの荷物として管理いただくようお願いいたします。預入荷物は、紛失や遅延到着する可能性があります。

- 予約時はパスポートのカラーコピー（高画質）をご提出いただけます。旅行にも同じパスポート原本を必ずご持参ください。
- パスポート有効期限はニュージーランド出国日から6ヶ月以上有効なものであることをご確認ください。国籍によってはニュージーランドの出入国要件が異なる場合があります。領事館にご確認ください。
- ニュージーランド領海を航海する場合は、パスポートや有効な写真付き身分証明書が必要です。
- これら要件はあくまで目安とし、変更される可能性もありますのでご注意ください。また一部の国籍の方は、ビザや電子渡航認証が必要になる場合があります。最新情報は、大使館／領事館でご確認ください。パスポート、ビザ、電子渡航認証など個人的な渡航書類の確認、申請、取得は旅行者個人の責任です。余裕をもって渡航書類をご用意ください。



©A.Russ

## ●税関／入国要件

ニュージーランドおよびオーストラリア沿岸海域から出港する航海は、最終帰港地で税関審査を受ける必要があります。

## ●ニュージーランド電子渡航認証(NZeTA)

ニュージーランド入国者に「ニュージーランド電子渡航認証(NZeTA)」を導入しました。ニュージーランドへの渡航前に余裕をもって申請してください。NZeTAが承認されるまで最大72時間かかります。国籍に応じて条件が適用されます。詳細については、入国管理ウェブサイト [www.immigration.govt.nz/eta](http://www.immigration.govt.nz/eta) を必ずご確認ください（モバイルアプリからの申請手続きはウェブサイトからの申請より費用が安くなります。）

ニュージーランドの国際空港に到着するすべての旅行者を対象にデジタル形式の「ニュージーランド旅行者申請書(NZTD)」も導入されました。デジタル申告はニュージーランドへ旅行開始24時間前までに完了できます。

詳細やNZTDアプリについては[www.travellerdeclaration.govt.nz](http://www.travellerdeclaration.govt.nz)をご覧ください。

## ●オーストラリア電子渡航認証(ETA)

マッコリー島を訪問する場合、オーストラリアおよびニュージーランド国籍者以外の訪問者は、オーストラリアビザまたはETA(電子渡航認証)の取得が必要となります。不明な場合は、最寄りの領事館または大使館に問い合わせ、ビザの必要条件を確認してご旅行準備ください。政府のウェブサイト[homeaffairs.gov.au](http://homeaffairs.gov.au)も参考になります。

## ●フライトスケジュール

集合解散地となるクイーンズタウン(ニュージーランド)までの往復航空券は、旅行代金に含まれていません。

ご旅行参加者は、ご自宅からクイーンズタウンまでの往復航空券をご準備ください。

クイーンズタウン空港は、山岳部に位置しているため、強風や濃霧など自然環境の影響を受けやすい場合があります。航空機発着の遅延／欠航する場合がありますこと知られています。集合日の前乗り、解散日の後泊など余裕を持ったスケジュールでの旅行計画も推奨されています。

### 「南極・ロス海地域」の気温のご案内

一般に南極では、日中の気温は穏やかで、夕方には下がります。ただし、風冷係数を常に考慮する必要があります。

気温／月	12月	1月	2月
最高気温	+3.6℃	+6.5℃	-1.4℃
最低気温	-13.0℃	-13.7℃	-22.1℃

### 「亜南極の島々」の気温のご案内

一般に亜南極の島々では、日中の気温は穏やかで、夕方には下がります。ただし、風冷係数を常に考慮する必要があります。

平均気温／月	11月	12月	1月	2月
オークランド諸島	7.0℃	8.0℃	10.0℃	10.5℃
キャンベル島	7.0℃	8.2℃	9.6℃	9.0℃
マッコリー島	4.5℃	6.1℃	6.9℃	6.5℃

# 船内インフォメーション

## ■言語

航海中の共通言語は、英語です。旅行中の案内、船内放送、スタッフとの会話はすべて英語でご案内いたします。各国出身の国際的なスタッフや乗組員が乗船しており、英語以外の言語を話すスタッフも乗船していますが、日本語を話せるスタッフは基本的にいませんので予めご注意ください。

## ■お食事ダイニング

4階デッキにある船上ダイニングでは、才能豊かなシェフによるインターナショナルな料理をお楽しみいただけます。270°の絶景を眺めながら、食事を楽しむことができます。ゆったりとした座席配置で、一日の冒険の準備を整える朝食から、豪華なランチ、そして夜のコース料理まで、すべての乗客が一度に食事を楽しむことができます。シンプルでおいしい食事を、堅苦しくなく、外側のデッキで野生動物を観察しながら食べたい方には、ビストロがおすすめです。デッキ6にあるビストロは、早起きしてのコンチネンタルブレックファーストサービスに最適です。

ビストロ(デッキ6)とラウンジ(デッキ5)では、セルフサービスの温かいお飲み物を終日ご用意しています。インハウスダイニングの毎日のメニューは、船内スクリーンに映し出される船内ウェブサイトのダイニングメニューに掲載されています。

## ■お飲み物

ソフトドリンク、ハウスワイン、ハウスビールは、昼食と夕食のサービス時に含まれています。国際色豊かなワイン、スピリッツ、プレミアムビール、シャンパン、ジュースは、有料となりますが、デッキ6のビストロバー、またはデッキ5のバー/ラウンジがオープンしている時間帯に、有料でお飲みいただけます。ご注意:ヘリテージ・エクスペディションズのポリシーにより、アルコール飲料のご提供は18歳以上の方に限らせていただきます。

## ■キャビン

広々とした設計の客室には、リビングエリア、シャワー付きバスルーム、広々としたワードローブ、デスクワークステーションが備わっています。

各客室には、以下のものが備えられています:

- テレビ(船内放送のみ)
- 個別制御の冷暖房
- ヨーロッパ仕様の2本の丸ピン(C型)プラグ
- 暗証番号式セーフティボックス
- シャンプー、ボディソープ、ローションなどのアメニティグッズ
- ヘアードライヤー

すべての客室は、キャビンアテンダントが毎日サービスを提供します。ほとんどの客室は、ツインベッドで構成されていますが、予約時にリクエストすれば、キングサイズベッドに変更することも可能です。

## ■インターネット環境

ヘリテージ・アドベンチャーの船内では、衛星通信システムによる音声通話やEメール、WIFIをご利用いただけます。無線LANへの接続方法、パウチャーの購入方法など、詳細は船上でご案内します。このシステムは衛星通信を利用しているため、当社の管理外の要因でサービスの質に影響が出る場合があります。客室内の電話は、船内で使用するものです。

## ■船内通貨と口座決済

船内では米ドルを標準通貨としています。船内では、すべての買い物やサービスに対して、キャッシュレスで「口座」システムを運用しています。乗船時に発行される船舶IDカードは、すべての買い物のために客室のアカウントにリンクされています。探検クルーズ中、購入の際にはサインを求められます。船内口座の支払いは、航海の終わり近くにレセプションで行われます。ビザ、マスターカードのクレジットカードと米ドルの現金がご利用頂けます。

**(注意)**客室を相部屋利用しているお客様で、別会計を希望される場合には、探検クルーズ開始時に受付にお申し出ください。

## ■ドレスコード

ヘリテージ・アドベンチャーの日中のドレスコードはカジュアルで、夕方からはスマートカジュアルになります。ウェルカムとフェアウェルディナーでは、ドレスシャツにネクタイなど、少しドレスリーな服装でお越しください。男性は、ドレスシャツにネクタイ、女性はドレスかスマートなトップスにズボンを含ませるなど、少しドレスリーな服装をお勧めします。安全のため、船内では必ず靴を履いてください。

## ■電圧について

船内の電圧は220ボルトです。コンセント(プラグ)は、丸いピンが2つあるヨーロッパの標準的なものです。(C型)110Vの機器を船内で220Vに変換する必要がある場合は、変換器をご持参ください。

## ■ギフトショップ

ヘリテージ・アドベンチャーのギフトショップでは、厳選された商品を取り揃えています。営業時間はダイリープログラムに記載されています。お買い上げいただいた商品は、船内会計に加算され、航海が終わる前に精算されます。

## ■船内チップ

チップは、お客様の文化に合わせた個人的な問題です。チップの目安は、お一人様1日あたり15~20ドルです。航海の最終日に受付で、現金で無記名でチップをお支払いいただくことも可能です。最終日の受付で、チップ専用のボックスにお入れください。

## ■ランドリー

ランドリーサービスが利用可能です。ワードローブのランドリーバッグに洗濯物を入れ、必要事項を記入した洗濯伝票を添えて、朝のキャビンサービス前に、ドアの前に置いておいてください。洗濯物は48時間以内におかえしいたします。記入された洗濯伝票に基づく料金が船内会計に加算されます。追加代金で24時間対応のスピードサービスもご利用いただけます。尚、船内にはセルフランドリーやアイロン設備はございません。

## ■医療施設とサービス

私たちは、洗練された医療施設のない遠隔地を旅します。ヘリテージ・アドベンチャーの船内には小さな診療所があり、常勤の船医がいます。また、ほとんどの探検クルーズでは、緊急対応要員が乗船し、ショアエクスカッションに同行してくれます。一般的に必要なとされる様々な薬や応急処置の器具が揃っていますが、近代的な病院に取って代わるものではありません。探検クルーズ期間中とそれに伴う旅行をカバーするために、十分な個人用医薬品をお持ちになることを強くお勧めします。

## ■喫煙

ヘリテージ・アドベンチャーの船内は、禁煙となっております。船内では、客室、バルコニー、パブリックエリアを含め禁煙です。唯一デッキ5のバー/ラウンジの後方にある喫煙所をご利用ください。タバコの吸い殻は船外に捨てず、備え付けの容器に捨ててください。環境への配慮から、上陸時やゾディアックでの喫煙は禁止されています。

## ■貴重品について

ヘリテージ・エクスペディションズは、お客様が船内に持ち込んだ私物の紛失や盗難について、一切の責任を負いません。貴重品(特に宝石類)は、寄港地観光の際に金庫に預けておくことをお勧めします。



©Richard Young

## ヘリテージ・アドベンチャー

先駆的な探検客船で、歴史と洗練されたデザインから「極地探検の貴婦人」と呼ばれることもあり、1991年にフィンランドのラウマ造船所で冒険のために特別に建造されました。もともと乗客定員184名で設計されていましたが、広々としたスタイリッシュで快適な航海を提供するために、乗客定員を僅か140名に制限。そして14艘のゾディアックボートを搭載し、すべてのお客様が探検クルーズを最大限に満喫いただけるようご案内いたします。

本格的な探検クルーズで比類のない基準を設定するヘリテージ・アドベンチャー(旧称MSハンゼアティック)は、極地探検の印象的な歴史と最高のアイスクラス(1Aスーパー)を兼ね備え、ヘリテージ・エクスペディションズ社のフラッグシップとしてパーソナライズされた伝統の探検クルーズをご案内いたします。



ビストロ/イメージ



イメージ

### ■主な施設

ダイニングルーム(お食事は1回制の自由席)、  
ビストロ、ラウンジ、バー、サウナ、プール、図書室、  
医務室、レクチャーシアター

### ■客室の主な設備

ソファ、薄型テレビ、エンターテインメントシステム



オブザベーションラウンジ/イメージ

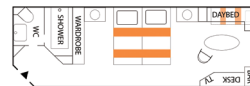


オブザベーションデッキ/イメージ

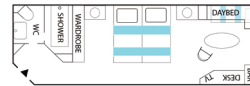


## 客室のご案内

**メインデッキ・トリプル (3デッキ) 広さ：22㎡**  
海側(丸窓)、ツインベッドと上段ベッド、シャワー付



**スーペリア・トリプル (5デッキ) 広さ：22㎡**  
海側(角窓)、ツインベッドと上段ベッド、シャワー付



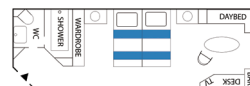
**デッキ4スーペリア (4デッキ) 広さ：22㎡**  
海側(角窓)、  
ツインベッド又は  
キングサイズベッド、  
シャワー付



**デッキ5スーペリア (5デッキ) 広さ：22㎡**  
海側(角窓)、  
ツインベッド又は  
キングサイズベッド、  
シャワー付



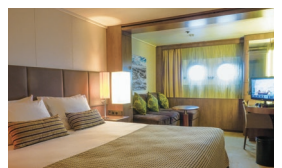
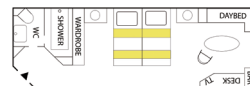
**ウォースリー・スイート (6デッキ) 広さ：22㎡**  
海側(大きな窓)、  
ツインベッド又は  
キングサイズベッド、  
シャワー付



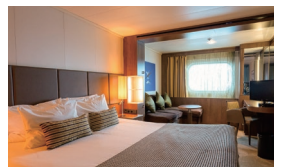
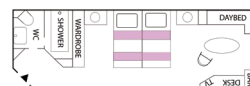
**ヘリテージ・スイート (6デッキ) 広さ：44㎡**  
海側(大きな窓)、キングサイズベッド、広いリビングエリア(ソファ、コーヒーテーブル付)  
大理石のバスルーム(バスタブ、シャワー & ダブル洗面台付)、  
ライティングデスク、  
床から天井まで  
ある収納棚



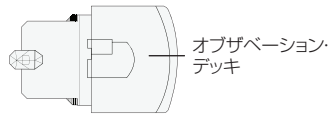
**メインデッキ・シングル (3デッキ) 広さ：22㎡**  
海側(丸窓)、キングサイズベッド、シャワー付



**スーペリア・シングル (5デッキ) 広さ：22㎡**  
海側(角窓)、キングサイズベッド、シャワー付

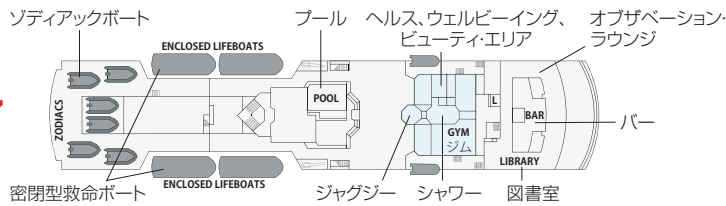


## デッキ8

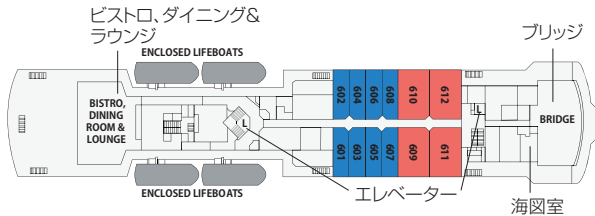


オブザーベーション・デッキ

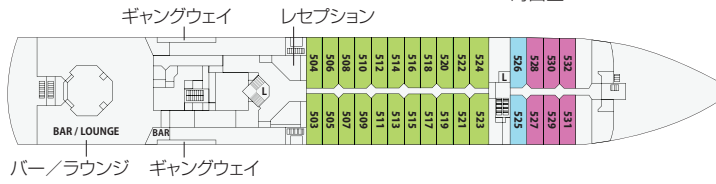
## デッキ7



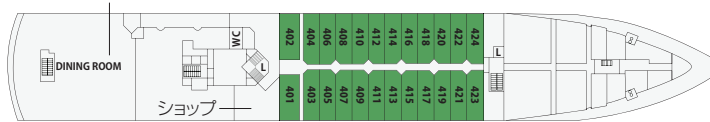
## デッキ6



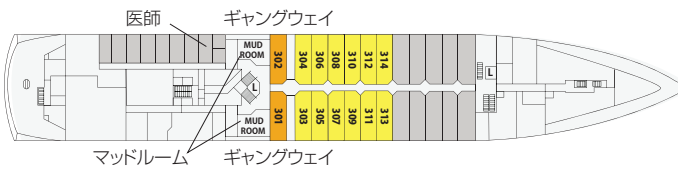
## デッキ5



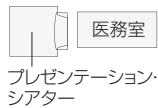
## デッキ4



## デッキ3



## デッキ2



### 船尾

### 船首

- ヘリテージ・スイート
- ウォースリー・スイート
- スーペリア・シングル
- デッキ5スーペリア
- スーペリア・トリプル
- デッキ4スーペリア
- メインデッキ・シングル
- メインデッキ・トリプル

客室タイプ	客室の設備	広さ	デッキ
メインデッキ・トリプル	海側(丸窓)、ツインベッドと上段ベッド、シャワー付	22㎡	3
スーペリア・トリプル	海側(角窓)、ツインベッドと上段ベッド、シャワー付	22㎡	5
デッキ4スーペリア	海側(角窓)、ツインベッド又はキングサイズベッド、シャワー付	22㎡	4
デッキ5スーペリア	海側(角窓)、ツインベッド又はキングサイズベッド、シャワー付	22㎡	5
ウォースリー・スイート	海側(大きな窓)、ツインベッド又はキングサイズベッド、シャワー付 無料の客室内ダイニング、毎日補充されるミニバー、ヘリテージEXのキーパップ、ノート、ペンをご利用いただけます	22㎡	6
ヘリテージ・スイート	海側(大きな窓)、キングサイズベッド 広いリビングエリア(ソファ、コーヒーテーブル付) 大理石のバスルーム(バスタブ、シャワー & ダブル洗面台付) ライティングデスク、床から天井まである収納棚 無料の客室内ダイニング、毎日補充されるミニバー、無料のランドリー、1名あたり100米ドルのSPAクレジット、ヘリテージEXのキーパップ、ノート、ペンをご利用いただけます	44㎡	6
メインデッキ・シングル	海側(丸窓)、キングサイズベッド、シャワー付	22㎡	3
スーペリア・シングル	海側(角窓)、キングサイズベッド、シャワー付	22㎡	5

※すべての客室には、ソファとフラットスクリーン・エンターテインメント・システムが備わっています。  
※トリプル客室の上段ベッドは、壁に折りたたむブルマンベッドです。

### シップデータ

- 建造年：1991年
- 建造国：フィンランド
- 総トン数：8,378トン
- 全長：124m
- 全幅：18m
- 喫水：4.97m
- 航海速度/最高速度：12ノット/15ノット
- アイスクラス：Lloyds 1AS, GL E4(耐水船)
- 乗客定員：140名
- エンジン：2×3,940馬力



ダイニングルーム/イメージ



バー/イメージ



ブリッジ/イメージ



ジャグジー/イメージ



ジム/イメージ

# 南極探検クルーズの服装と装備の目安

## ① 防水性防寒ジャケット

- 南極ロス海コースでは、防水性防寒ジャケットを推奨いたします。
- 亜南極のみのコースでは、防水防寒ジャケットは、ご自身で準備が必要です。

## ② 防水性のズボン

ゾディアック・ボートに乗船中、水しぶきで濡れる事もあります。また、雪上に座り込む事もありますので、必ず**防水性のズボン**(ゴアテックス製やナイロン製)をご用意ください。防水性のズボンの下に着用する服装は保温性の高いコーデュロイやチノパンツがおすすめです。

## ③ ゴム長靴

本船にご乗船後、貸出いたします。厚手の靴下を着用ください。上陸地には、栈橋はありません。砂地や丸石、苔が生えたすべりやすい石、岩場などの海岸に上陸するため、足元が濡れますので**ゴム長靴**は必需品です。



南極での服装 (イメージ)

## ④ 帽子

奪われる体温の半分は頭部からです。「つばと耳当て付の帽子」をお持ちになると便利です。

## ⑤ ネックウォーマー&フェイスウォーマー

冷たい風から首回りや顔を保護するのにとても便利です。

## ⑥ フリースやセーター

2~3枚程度をご用意いただくと重宝します。

## ⑦ リュックサック

南極クルーズでは、乗下船の際、ゾディアック・ボートを利用しますので、安全のため、両手を空ける必要があります。カメラや双眼鏡、バッテリーなど上陸後に必要なものは、リュックサックに収納してご持参ください。

## ⑧ 手袋

フリース製とポリエステル製の厚手の手袋を2組をご用意ください。  
※水に濡れても速乾性のあるものが便利です。

## ⑨ 下着

ヒートテックなど保温性の高い下着を4~5枚をご用意ください。

## ⑩ 厚手の靴下

厚手の靴下を4~5組をご用意ください。

## ⑪ 水着

水温や気象の状況が許せば、ポーラー・ブランジ(南極海飛び込み大会)も予定されています。

## ⑫ その他

南極では、陸上でのトイレは禁止されています。トイレが心配な方はいざと言うときの為に医療用の紙パンツをお持ちになると安心です。

## ⑬ 役立つアイテム

- 紫外線防止用のサングラス & UVクリーム
- コンタクトレンズをご利用の方は予備の眼鏡
- 野生生物を観察するのに便利な双眼鏡
- 使い捨てカイロを数個 ●保湿剤(皮膚や唇用)



## 上半身

防水性防寒ジャケット

南極ロス海コースのみ進呈



## 頭部



帽子

## サングラス



ネックウォーマー

## 背中



防水性バックパック

## 手



手袋

## 下半身



アウター (断熱レイヤー)



ミッドレイヤー (フリースの上着)



ベースレイヤー (ウール又は合成繊維の下着)



ベースレイヤー (ポリエステル又はシルクのロングパンツ)

## 防水性ズボン



靴下

乗船後 無料貸出

ゴム長靴



## 旅客運送約款 (Passage Contract)

ヘリテージ・エクスペディションズの探検クルーズを予約する際には、下記の利用規約をご一読の上、ご予約されますようご案内申し上げます。

### 1. 旅客運送約款 (Passage Contract)

1.1 この旅客運送約款は、当社のプライバシーポリシー (https://www.heritage-expeditions.com/privacy/)、運送約款および探検クルーズのパンフレット[お客様の特定のエクスペディションに適用される特別条件]、および当社がお客様の予約を確認する前にお客様に通知したその他の書面情報とともに、お客様と当社との契約の基礎となります。運賃の支払いは、航海契約、運送約款、および関連する条件の承諾を意味します。この旅客運送約款の条件と運送約款および/またはエクスペディションパンフレットの条件に矛盾がある場合は、この旅客運送約款の規定が優先されます。

### 2. 定義

- 2.1 「運送人」または「当社」とは、ヘリテージ・エクスペディションズ(2018)株式会社または探検船客、定時乗船客、再乗船客、船舶の運航者、またはその他の人物(上記の各人が運送人または旅行運送人として行動する範囲)を指します(アテナ条約に定められた定義に従います)。
- 2.2 「出発日」とは、乗客が遠征に参加する予定の日付を意味し、乗船前のホテル宿泊日も含まれる場合があります。
- 2.3 「エクスペディション」とは、探検クルーズの標準代金に含まれておらず、探検クルーズ代金とは別に、ヘリテージ・エクスペディションズによって販売される陸上のエクスカーション(小旅行、またはアクティビティ)を意味します。
- 2.4 「探検クルーズ」とは、契約において運送業者が行うことに同意された航海を意味し、探検クルーズ書類に記載されているとおり、ヘリテージ・エクスペディションズが行うその他の輸送/宿泊手配を含みますが、ヘリテージ・エクスペディションズが提供していないエクスカーションは含まれません。
- 2.5 「第三者サプライヤー」とは、遠征の一部を構成するサービスを提供する個人(従業員、代理人、請負業者、下請業者、保険業者を含む)を意味します。
- 2.6 「旅客運送約款」とは、当社が航海を提供することに同意するお客様とヘリテージ・エクスペディションズの契約を意味し、この旅客運送約款、運送約款、この旅客のプライバシーポリシー、探検クルーズのパンフレット、およびお客様の航海に適用される特別条件が含まれます。
- 2.7 「予期せぬ出来事」とは、天災、公敵、政府による規制、暴動、ストライク、ロックアウト、労働争議、伝染病、パンデミックまたはその他の健康上の緊急事態、内乱、海、港、河川またはその他の航行可能な水域の危険、燃料不足または燃料費の突然かつ予期せぬ増加、衝突、座礁、嵐、荒海および悪化、津波、サイクロン、窃盗、不法行為またはその他の人物による犯罪、船舶または他の船舶の航行または管理の過失または誤り、爆発、シャフトの破損、または船舶、機械または付属品、設備、家具または供給品、船舶または船舶または船隻の過失または不航、または運送人の施設の欠陥、火災または他の過失または怠慢(起因するがこれらに限定されず)、運送人の制御を超えた行為、状況または出来事を意味します。タグボート、乗組員、代理店または独立請負業者、港の閉鎖、到着時の港での船舶の停泊の割り当ておよび許可の遅延、法的手続きによる船舶の押収。
- 2.8 「船舶」とは、乗客が探検クルーズを実施するために使用する船舶を意味し、代替船舶、および船舶または所有者に属する、または船舶に関連して運航されるすべてのラッチおよび水上艇を含みます。
- 2.9 「当社」とは、ヘリテージ・エクスペディションズ(2018)株式会社(以下「ヘリテージ・エクスペディションズ」)または該当する場合その従業員、代理人、独立請負業者、下請業者、および関連するすべての保険会社を指します。
- 2.10 「お客様または乗客」とは、ヘリテージ・エクスペディションズが発行した予約フォームおよび/または確認請求書に記載されている、旅行グループの全メンバーを指します。

### 3. 予約フォーム

- 3.1 すべての乗客は予約フォームに記入する必要があります。お客様の責任において、予約フォームと機密医療フォームを正確にご記入ください。
- 3.2 予約フォームに記入することにより、乗客は本契約に同意し、本契約に従い、拘束されることに同意するものとします。
- 3.3 乗客が予約フォームを完了していない、または部分的に完了している場合でも、乗客は乗船契約の条件に拘束されるものとします。

### 4. お支払い

- 4.1 ご予約を確定するには、ヘリテージ・エクスペディションズにクルーズ代金総額の25%に相当する返金不可の申込金を支払う必要があります。残金(クルーズ代金総額の75%)は、ヘリテージ・アドベンチャーの場合には出発予定日の90日前までに、ヘリテージ・エクスペディションズ(南極・ロス海探検クルーズ)は、出発予定日の120日前までに、ヘリテージ・エクスペディションズ(南極・ロス海探検クルーズ)は、出発予定日の60日前までに支払う必要があります。
- 4.2 申込金の受領後、予約確認書をお送りします。旅行代金を全額お支払いいただいた後、旅行書類を送付いたします。
- 4.3 お客様が支払い義務を果たさない場合、ヘリテージ・エクスペディションズはお客様に督促状を送出し、お客様は直ちに支払いを行う機会を有します。それでも支払いが行われない場合、未払いの各月または一部月に対して1%の利息を支払う義務があります。さらに、請求額の15%に相当する法的回収費用の補償を支払う義務があり、その最低額はUSD\$50.00です。お客様が支払義務を履行しない場合、ヘリテージ・エクスペディションズは、不履行の日には航海契約を解除する権利を留保します。ヘリテージ・エクスペディションズは、発生した取消費用を請求する権利を有します(第8条に準ずるが、旅行確認書が別途合意されたとおり)。
- 4.4 支払いの遅れにより、ヘリテージ・エクスペディションズが探検クルーズ開始前に渡航書類をお客様に送付できない場合、追加の送付費用をお客様に請求されます。ヘリテージ・エクスペディションズは、渡航書類が時間どおりに到着しなかったことに伴って一切責任を負いません。
- 4.5 お客様が支払った申込金の所有権は、顧客保証金契約に従い、ヘリテージ・エクスペディションズ(2018)株式会社(以下「ヘリテージ・セキュリティ株式会社」)が保有します。申込金は、本契約の条件、特に以下の第8条(ただしそれらに限定されません)に従います。

### 5. 旅行内容の変更 / 料金の変更

- 5.1 探検クルーズの開始前に発生し、旅行書類で同意された探検クルーズの構成要素の変更は、探検クルーズの性質を事前に変更しない場合に限り許可されます。これは、航空会社による変更、フライトの出発時刻の変更、主要な探検の前後のホテル宿泊に関する変更、旅行プログラムまたはエクスカーションのオフアの変更が含まれますが、これらに限定されません。ヘリテージ・エクスペディションズは、このような変更を事前に通知する義務があります。お客様は、このような変更を渡航契約の解除事由とするとはできません。
- 5.2 意図代金は、出発日の発行時および旅行確認時にヘリテージ・エクスペディションズが把握している価格、為替レート、関税および消費税に基づいています。ヘリテージ・エクスペディションズは、探検クルーズにかかる費用の予見不能な上昇(為替レート、宿泊費、航空運賃、関税、税金、燃料価格の上昇など)を理由に、協定代金を値上げする権利を留保します。ヘリテージ・エクスペディションズが代金の値上げが必要と判断した場合、出発日の20日前までに書面でお知らせします。出発日の20日前以降の値上げは認められません。代金の値上げの合計が最初のご予約代金の10%を超える場合、お客様は予約をキャンセルすることができ、当社はお客様が当社に支払った代金を払い戻します。

### 6. 時間、遅延、予期せぬ出来事

- 6.1 時間はあくまでも推定値であり、チケットに記載されている場合でも保証されるものではないことをご了承ください。時間は、規制当局の変更、気象条件、メンテナンスまたは技術的理由、および乗客が時間通りにチェックインし(搭乗できるかどうか)によって変更される場合があります。
- 6.2 ヘリテージ・エクスペディションズは、予期せぬ出来事によって旅客運送約款の履行が妨げられたり遅れたりした場合、その履行について責任を負いません。予期せぬ出来事が発生した場合、ヘリテージ・エクスペディションズは、その絶対的な裁量により、次の措置を取ることがあります。
  - (a) 探検クルーズの全部または一部をキャンセルする。
  - (b) 旅程を変更する。
  - (c) ヘリテージ・エクスペディションズが合理的に必要であると判断するその他の措置を取る。

### 7. ヘリテージ・エクスペディションズによる探検クルーズのキャンセル

- 7.1 探検クルーズに必要な最小乗客に達していない場合、ヘリテージ・エクスペディションズは出発日の30日前までに探検クルーズをキャンセルする権利を留保します。ヘリテージ・エクスペディションズは、お客様の予約と支払いを代替の探検クルーズに振り替えます。代替の探検クルーズを希望しない場合は、書面当社に通知する必要があります。その場合、ヘリテージ・エクスペディションズが受け取った金額から回収不能費用を差し引いた代金を返金されます。
- 7.2 ヘリテージ・エクスペディションズは、予期せぬ出来事が発生した場合に探検クルーズをキャンセルする権利を留保します。
  - (a) 出発日より予期せぬ出来事が発生した場合、ヘリテージ・エクスペディションズは支払われた金額を別の出発日に移行するか、または当初の出発日から12か月以内に使用できる旅行チケットを発行します。
  - (b) 探検クルーズに予期せぬ出来事が発生した場合、ヘリテージ・エクスペディションズは代替プログラムを提供するために最善を尽くします。代替プログラムを提供できない場合は、(a)探検クルーズの残りの日数に対するクレジット、または(ii)回収不能費用を差し引いた探検クルーズの残りの日数に対する払い戻しのいずれかの選択版をお客様に提供することがあります。
- 7.3 お客様の探検クルーズが第2項(a)に従って別の出発日に変更された場合、第8.1条の乗客キャンセル規定は変更された探検クルーズには適用されません。
- 7.4 ヘリテージ・エクスペディションズが第7.1項および第7.2項の規定に従って探検クルーズをキャンセルする場合、ヘリテージ・エクスペディションズは、キャンセルによりお客様が被った損失または損害、探検の準備で発生した費用、またはヘリテージ・エクスペディションズが予約した探検クルーズと組み合わせて他の場所で行われた可能性のある旅行コンポーネント(フライト、ホテル、接続プログラム、旅行保険など)の予約について責任を負いません。

### 8. 乗客のキャンセル

- 8.1 お客様は、出発日前であればいつでも書面当社に通知することにより、乗船契約をキャンセルすることができます。キャンセルは、当社がお客様からの手紙または電子メールを受け取った日に有効となります。当社は、お客様の予約を確認した時点からお客様の手に関する費用を含め、以下が適用されます。

旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	取消日		取消料
	「南極・ロス海」探検クルーズの場合	「マッコリー島」探検クルーズの場合	
前日から	予約時~180日前まで	予約時~180日前まで	US\$750
起算して	179日前~121日前まで	179日前~91日前まで	クルーズ代金の25%
さかのぼって	120日前~当日まで	90日前~当日まで	クルーズ代金の100%
	旅行開始後、無連絡不参加		クルーズ代金の100%

\*クルーズ旅行取消費用担保特約(キャンセル保険)に加入することをおすすめいたします。

- 8.2 予約後に探検クルーズ(出発日、目的地、宿泊施設の種別など)を変更する場合、これはキャンセルとみなされ、第8.1項に記載されているキャンセル料金が適用されます。
- 8.3 キャンセルの条件については、保険証券を確認することをお勧めします。

### 9. 旅行期間および保険

- 9.1 ヘリテージ・エクスペディションズが提供する旅行スタイルは冒険的であり、また旅行する地域によっては遠隔地であるため、すべての旅客が出発前に包括的な海外旅行保険に加入し、探検クルーズ期間中もそのような保険を維持することが、ヘリテージ・エクスペディションズでの旅行の条件となります。
- 9.2 ヘリテージ・エクスペディションズで旅行する乗客は、手荷物(紛失、キャンセル、休憩の短縮、医療、事故、本国送還/緊急避難の補償を含む)信頼できる海外旅行保険に加入する必要があります。補償額は、すべての乗客探検クルーズで1人あたり少なくとも3,000万円、南極・ロス海探検クルーズでは1人あたり5,000万円であり、それ以上は補償に十分な条件です。当社は世界の遠隔地を旅行するため、保険の本国送還/緊急避難補償額は最低限度より高い、遠隔地または極地への避難が必要な場合に補償されることをお勧めします。探検クルーズ中に船上または陸上で医療上の問題が発生し、医療費、本国送還費、避難費、航空機への使用料などが発生した場合、これらの費用および経費の支払い責任は乗客のみに留まり、このような事態が旅行保険でカバーされていないことを確認してください。いずれにしても、海外旅行保険に加入していない場合、責任は乗客にあり、ヘリテージ・エクスペディションズはヘリテージ・エクスペディションズの関連法人がお客様に代わって旅行保険を手配する場合を含め、ヘリテージ・エクスペディションズは一切の責任を負いません。
- 9.3 お客様の海外旅行保険の詳細は、最終支払い前に当社に提供されなければなりません。お客様が要求された海外旅行保険情報を要求された時期に提供できなかった場合、当社はお客様の予約をキャンセルする権利を留保します。
- 9.4 お客様が第9.3項に従ってヘリテージ・エクスペディションズに海外旅行保険の証券(確認書)を提出せず、その後予約がキャンセルされた場合、お客様は払い戻しを受ける権利がなく、本旅行契約に従って支払期限が到来した金額を支払う責任を負います。
- 9.5 乗客は、有効なパスポートと、探検で訪問する国の適切なビザ/旅行許可証を所持している必要があります。パスポートは、探検クルーズの終了後少なくとも6か月間有効である必要があります。ヘリテージ・エクスペディションズは、いかなる旅行制限についても責任を負いません。また、関連する旅行書類の不足により発生する費用についても責任を負いません。
- 9.6 ヘリテージ・エクスペディションズでは、すべての乗客に対し、WHO 承認のワクチンで Covid-19 ウイルスのワクチン接種を完了していること、および、探検クルーズ開始時点でワクチン接種状況が最新であること(これを証明する有効な証拠を提示することを要求します。ヘリテージ・エクスペディションズは、そのような証拠を提示しない乗客の乗船を拒否する権利を留保します)。
- 9.7 乗客は、航海中に訪問する国への旅行に必要なすべての予防接種を受けることに同意します。また、ヘリテージ・エクスペディションズが独自の裁量で決定する追加の予防接種を受け取ることに同意します。ヘリテージ・エクスペディションズは、予防接種を受けていない、または本航海契約の医療要件を満たしていないために発生する可能性のある、旅行の除外、またはいかなる種類の費用、損害、損失についても責任を負いません。

### 10. 旅行代理店による予約

- 10.1 ヘリテージ・エクスペディションズは、お客様がヘリテージ・エクスペディションズの手配を予約するために旅行代理店を利用できることを承認し、旅行代理店によるいかなる表明についても当社は責任を負いません。
- 10.2 お客様は、予約フォームと申込金を提供する時点で、当社が旅客運送約款を精査し、理解し、同意することがお客様の責任であることをご承知し、認めます。ヘリテージ・エクスペディションズに直接または旅行代理店を通じて行われた予約は、お客様が旅客運送約款を承認し、それに従い、拘束されることに同意することを示す拘束力のある契約となります。予約フォームと機密医療フォームを正確に記入することは、乗客の責任です。
- 10.3 ヘリテージ・エクスペディションズは、その旅行代理店を通じて予約されていないフライトまたは陸上前後の手配は、この契約の一部を構成するものではなく、ヘリテージ・エクスペディションズが当事者ではない独立した契約の対象となります。旅行代理店は独自の予約条件(当社のものに加えて)があり、これは、ヘリテージ・エクスペディションズとの渡航契約の一部にはなりません。

### 11. リスクの受け入れ

- 11.1 お客様は、探検クルーズの性質上、冒険的であり、参加にはある程度の個人的なリスクが伴うことを認めます。お客様は、政治的、文化的、地理的な特性により危険や物理的な課題が生じる場所を訪問する場合があります。
- 11.2 お客様は、COVID-19ウイルスにさらされる可能性が常に発生することを認識し、これを認めます。当社はお客様の安全を確保するためにあらゆる合理的な措置を講じ、探検クルーズ中に追加の安全プロトコルに従うようお客様に要求する場合があります。
- 11.3 当社は、旅程を実施すべきかどうかを評価するために、政府の海外部門からの情報と当社独自の連絡先からの報告を使用します。ただし、適用される健康リスクや旅程の性質を含む、関連するすべての旅行情報を把握することは、お客様自身の責任でもあります。お客様は、旅行の決定がこの情報を考慮して行われることを認め、そのような旅行に伴う個人的なリスクを認識していることを承認します。法律で認められる最大限の範囲で、当社はこれらを追加リスクに伴う一切の責任を負いません。
- 11.4 いかなる港または場所においても、当社は、船舶の権限を有する職員(船長)の判断により、現地当局によりさらなる目的の地への上陸を拒否される可能性がある、または伝染病または感染症に罹患している可能性がある、またはその存在が他の乗客または乗組員の健康に有害である可能性がある乗客の乗船を拒否または下船させる場合があります。
- 11.5 船舶または個々の乗客が検疫された場合(乗客または船医施設の居住者に何らかの症状が見られる場合、または他の乗客に危険を及ぼす可能性がある)と判断された場合、乗客は客室内に留まると、船上の許可された職員(指示に従うよう求められる場合があります)が、当社はそれにより発生した費用について責任を負いません。また、上記のような場合には、払い戻しや補償を受ける権利はなく、結果として発生した費用について責任を負いません。

### 12. 旅行の適性

- 12.1 運送人が国際法または国内法で定められた適用可能な安全要件に従って乗客を安全に輸送できることを保証するため、または船舶の旗国による管轄当局が定める安全要件を満たすために、お客様は海外旅行の適性があり、お客様の行動または状態が船舶の安全を損なったり他の乗客に迷惑を及ぼしたりしないことを保証します。
- 12.2 当社は、適用される国際法または国内法に従って乗客が安全に輸送されるかどうかを評価するために、乗客に旅行に適していることを示す医学的証拠の提示を求める権利を留保します。当社が必要と判断した場合、搭乗前に健康に関する質問票を実施する権利を留保します。
- 12.3 乗客は、障害、妊娠、病後での治療など、乗船者の旅行適性に関する詳細な規定が記載されている旅客運送約款(第18条~第22条)をよく読んで確認することをお勧めします。

### 14. 責任

- 14.1 法律で認められる最大限の範囲で、当社は、お客様またはその他の人物(契約、不法行為、その他のものを問わず)に対して、当社の詐欺または故意の不正行為の直接の結果として生じた損失または損害を除き、当該損失または損害が当社の詐欺または故意の不正行為の直接の結果として生じた場合を除き、当社または当社に代わって行われた過失またはその他の行為または不作為の結果として被った死亡または人身傷害またはあらゆる種類の損害を含む、いかなる損失(直接、間接、結果を問わず)についても一切の責任を負いません。
- 14.2 本船の耐航性、適性、または状態に関して、いかなる約束、保証、または暗示も行われず、また行われず、またいかなるものも留保されず、お客様は、直接的または間接的に起因する第三者からの請求に対するすべての損失、請求、訴訟、手続き、損害、費用、および経費(弁護士費用を含む)について、運送人(および当社の子会社、役員、従業員、請負業者、および代理人のすべて)を免責します。
  - (a) ヘリテージ・エクスペディションズとともに、またはヘリテージ・エクスペディションズに関連して企画された探検クルーズへの参加。
  - (b) お客様による以下の違反
    - (i) 本航海契約
    - (ii) 運送約款
    - (iii) 探検クルーズの一部であるサービスの提供に適用される追加条件。ただし、かかる損失または損害がお客様の不正行為または故意の違法行為の直接的結果として生じた場合を除きます。

### 15. 代替船舶

- 15.1 当社は、ヘリテージ・エクスペディションズが所有または運営しているかどうかにかかわらず、予定されている船舶の別の船舶に代替する権利を留保します。旅行手配および探検のいかなる部分も、乗組員または乗客の医療上の下船、または当社または当社のサプライヤーの管理が及ばないその他の状況を含む、いかなる理由でもキャンセル、遅延、変更、または島/本土訪問のキャンセルの対象となります。したがって、お客様は、予定されている航路および発表された出発および到着時刻が保証されていないことを承認し、同意するものとします。また、当社または当社のサプライヤーの管理が及ばない時刻により遅延、変更、またはサービスの提供が不可能になった場合、当社は乗客に対して損害賠償またはその他の請求の責任を負わないものとします。

### 16. 第三者サプライヤー

- 16.1 当社は、信頼できる第三者サプライヤーを選択するためにあらゆる合理的な手段を講じますが、その行為または不作為について責任を負うこととはできません。第三者サプライヤーにより提供されるサービスは、これら第三者サプライヤーにより課される旅客運送約款の対象となる場合があります。お客様は第三者サプライヤーと追加契約を締結する必要がある場合があります。これは、第三者サプライヤーの責任を制限または除外する場合があります。お客様は、第三者サプライヤーが事業を行う国の適用法を遵守して事業を行っていることを認め、当社は、第三者サプライヤーがお客様の居住国またはその他の司法管轄区の法律を遵守していることを保証しません。
- 16.2 当社は、過失にかかわらず、これらの第三者サプライヤーの作および不作為についてお客様を負います。お客様と第三者との間の紛争は、お客様と当該第三者との間でのみ解決されるものとします。

### 17. 苦情

- 17.1 探検クルーズ中に問題が発生した場合、お客様は直ちに船内、または関連する航空会社、地上係員、ホテル業者、その他のサプライヤーに報告し、問題の解決に迅速に努めなければなりません。万が一、その時点で問題が解決できず、お客様が苦情を申し立てる場合は、ご帰国後28日以内に書面による苦情を当社にお送りください。
- 17.2 これらの措置のいずれかまたは両方を講じた場合、お客様の問題を解決するおよび/またはその問題を完全に調査する当社の権利が損なわれる可能性があります。旅客運送約款に基づきお客様の権利に影響を及ぼす場合があります。

### 18. 一般事項

- 18.1 変更の禁止:ヘリテージ・エクスペディションズが書面を確認しない限り、旅客運送約款の条件の変更は効力を持たないものとします。
- 18.2 権利放棄の禁止:本契約に基づき、ヘリテージ・エクスペディションズがいかなる費用、期間延長、または条項の緩和を与えても、それに基づきお客様の権利の放棄を意味するものではなく、また、当社による既存または将来の権利の行使を妨げたり、不利な影響を及ぼすものではありません。
- 18.3 パンフレット/パンフレットに当社旅客運送約款の詳細、または予約、予約取消、運賃の払戻し、航海日程に関する方針が記載されている場合、当該パンフレットは本旅客運送約款の一部を構成し、矛盾がある場合は本旅客運送約款が優先されるものとします。
- 18.4 法律および管轄:本旅客運送約款はニュージーランドに準拠し、旅客は、本旅客運送約款に関連する旅客とヘリテージ・エクスペディションズとの間の請求または紛争は、ニュージーランドの適切な管轄を有する裁判所に付して開始、提訴、訴訟されることに同意します。

この利用規約は、「ヘリテージ・エクスペディションズの利用規約」を日本語に翻訳したものです。すべてにおいて「ヘリテージ・エクスペディションズ社の英文の利用規約」が優先します。

## ご案内

■申込金(大人お一人様)：クルーズ代金の25%

■残金のお支払い ご旅行出発の121日前までにお支払頂きます。

### 取消料

	取消日	取消料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	予約時～180日前まで	US\$ 750
	179日前～91日前まで	クルーズ代金の25%
	90日前～当日まで	クルーズ代金の100%
	旅行開始後、無連絡不参加	クルーズ代金の100%

### ※「南極ロス海探検クルーズ」の場合

	取消日	取消料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	予約時～180日前まで	US\$ 750
	179日前～121日前まで	クルーズ代金の25%
	120日前～当日まで	クルーズ代金の100%
	旅行開始後、無連絡不参加	クルーズ代金の100%

■相部屋について／お一人様でご参加の場合、下記の客室タイプに限り、相部屋でのご予約を承っています。相部屋の場合には、追加料金無しでご参加いただけますが、陸上での宿泊ホテルも相部屋となります。

客船名	相部屋での予約可能な客室タイプ			
ヘリテージアドベンチャー	メインデッキトリプル	スーペリアトリプル	デッキ4スーペリア	デッキ5スーペリア

### 旅行代金に含まれるもの

- 上陸費用 ●乗船前／下船後の送迎
- 日程1日目：宿泊ホテル(夕食、朝食付)
- 航海中の宿泊
- 航海中の食事(朝食、昼食、夕食、アフタヌーン)
- 船内レストランでの飲み物  
昼食&夕食：ハウスビール、ワイン、ソフトドリンク
- 船外活動：上陸観光やゾディアッククルーズ
- エクスペディションスタッフのレクチャープログラム

### 旅行代金に含まれないもの

- 日程に明示されていない交通費、宿泊、食事代
- 日程に明示されていない国際線／国内線航空運賃
- 航空機の超過手荷物代金 ●燃油、空港諸税
- パスポートやビザの取得費用
- 個人的な旅行費用(通信費用、ランドリー、バーでご注文のドリンクなど)
- 船内チップ ●海外旅行保険(加入必須)

■パスポートは、日本帰国時6カ月以上有効なものがが必要です。

### 探検クルーズに参加するのに必要な国のビザ

渡航国	必要ビザや渡航書類
ニュージーランド	●ニュージーランド電子渡航認証(NZeTA) 旅行出発前に余裕をもって申請取得ください。 ●ニュージーランド旅行者申請書(NZTD) NZTDはデジタル形式の税関申告書です。到着24時間前からオンライン申請が必要です。 ※航海中(ニュージーランド帰港前)にもお客様自身でオンライン申請が必要となります。
マッコリー島含むオーストラリア	●オーストラリア電子渡航認証(ETA) 旅行出発前に余裕をもって申請取得ください。

■この旅行では厳しい気象条件の遠隔地を訪れるため、予期せぬ理由で航路や上陸場所を変更することがあります。パンフレットに表記した日程は気象、海象、氷の条件によって決定されますので旅程を保証するものではありません。全力を尽くしてご案内いたしますが、表記の日程は、あくまでも目安としてご参照ください。

## お申込みからご出発まで

### ご予約

- ↓ 電話、Eメール、ご来店にてお申込みください。  
健康上、告知すべきことがある場合は、予めお知らせください。  
ご予約の際は、参加者全員のお名前フルネーム(パスポート記載)、性別、生年月日をご提示いただきます。

### 申込金と申込書

- ↓ ご予約準備ができた後「申込書類」「請求書」をご案内いたします。  
お支払は、**日本円**(請求書発行日の銀行CASH S.レート適用)または**USD**で承っております。

### 予約完了

- ↓ 申込金のお支払確認ができますと予約完了となります。

### 残金のお支払い

- ↓ 残金は、ご旅行出発121日前までにお支払いいただきます。

### 契約書類等

- ↓ ご予約完了後、旅行参加に必要な下記書類を順次ご案内いたします。
  - 極地クルーズ参加条件書
  - 医療情報(健康アンケート)
  - 海外旅行保険加入情報
  - フライトスケジュール
  - 南極環境保護法に関する届出書  
※南極大陸に訪れる航海の参加者のみ環境省への届出書をご提出いただきます。

### 確認書及び資料の発送

- ↓ ご旅行出発の4～3週間前頃に確認書をお送りいたします。

### ご旅行出発

ご旅行出発。  
夢と感動にあふれた探検クルーズをお楽しみください。

## 保険のご加入について

極地旅行では、人間の住んでいない遠隔地を訪れます。病気や怪我で緊急に治療が必要になった場合、極地から高度な医療設備の整った病院へ搬送するために飛行機のチャーター代等、莫大な費用が発生します。  
**この極地旅行にご参加するお客様は、3,000万円以上の治療・救援費用を含む包括的なセットタイプへの加入をお願いいたします。**旅行保険未加入は、ご旅行参加できませんので、予めご注意ください。またご旅行出発前に病気や怪我等で旅行をキャンセルしなければならなくなった時に備える「クルーズ旅行取消費用担保特約」への加入も推奨しております。クレジットカード付帯の海外旅行保険は、極地旅行に適した十分な補償内容ではないことがほとんどですのでご注意ください。  
当社では、日本出発する極地旅行者に適した保険をご案内しております、詳細につきましてはお問い合わせください。



●お申込み・お問い合わせは

ヘリテージ・エクスペディションズ 日本地区正規代理店

HERITAGE EXPEDITIONS

株式会社クルーズライフ

日本旅行業協会正会員 観光庁長官登録旅行業第2054号  
〒107-0051 東京都港区赤坂1-7-20 元赤坂ウエスト5階

HP、SNSはこちら

TEL 03-6228-3981

E-mail contact@cruiselifelife.co.jp

(株)クルーズライフ 検索

